

会報

2024
Vol. 188



©水上俊介



CONTENTS

駅伝 [箱根・全日本]

- 特別企画 二十歳の抱負
- サークル紹介 体育会ヨット部／駒澤大学ボランティアサークル
- 学部・学科紹介 経営学部
- オータムフェスティバルを終えて
- 駒澤大学のおいしい学食

会報

2024
Vol. 188

サークル紹介 体育会ヨット部 ▶14～15ページ

◆ 巻頭挨拶 …… 4～5

石川 順之(学校法人駒澤大学理事長) …… 4
 櫻井 秀則(駒澤大学教育後援会会長) …… 5

特集 1

◆ 駅伝「箱根・全日本」 …… 6～12

● プレイバック箱根駅伝 …… 6～11
 箱根駅伝を終えて 藤田 敦史(陸上競技部監督) …… 7
 激闘を終えて 1区 篠原 倅太郎 / 2区 鈴木 芽吹 / 3区 佐藤 圭汰 / 4区 山川 拓馬
 5区 金子 伊吹 / 6区 帰山 侑大 / 7区 安原 太陽 / 8区 赤星 雄斗
 9区 花尾 恭輔 / 10区 庭瀬 俊輝 / 主務 並木 大介 …… 8～11
 ● プレイバック全日本大学駅伝(全日本大学駅伝応援記) …… 12

◆ 特別企画 二十歳の抱負 …… 13

入學 佳成(法学部 政治学科2年) / 小山 はるか(法学部 法律学科2年)

特集 2

◆ サークル紹介 …… 14～17

● 体育会ヨット部 鴨川 弘太郎(主将) / 大久保 颯人(書類係) / 保坂 美涼(マネージャー)
 「取材を終えて」教育後援会文化部取材班 …… 14～15
 ● 駒沢大学ボランティアサークル 津山 瑚太郎(幹事長) / 出口 隼也(副幹事長) / 前田 光太郎(渉内長)
 「取材を終えて」教育後援会文化部取材班 …… 16～17

◆ 特別企画 第21回 地方で活躍する駒大卒業生の皆さん …… 18～19

● 朽木 康博(文学部 地理学科地域環境研究専攻卒業)

特集 3

◆ 学部・学科紹介 経営学部 …… 20～25

● [学部長挨拶] 中川 淳平(経営学部長・教授) …… 20
 ● [学科紹介] 村山 元理(経営学科主任・教授) / 中野 香織(市場戦略学科主任・教授) …… 21
 ● [教員・ヒックアップ] 柳 綾子(経営学科講師) / 塚原 慎(市場戦略学科准教授) …… 22～23
 ● [このゼミに注目!] 中村 一成(経営学科准教授) / 武谷 慧悟(市場戦略学科准教授) …… 24～25



学部・学科紹介 経営学部 ▶20～25ページ

【駒澤大学教育後援会とは】

教育後援会は、駒澤大学・大学院に在学する学生の保護者を会員として構成されています。大学と家庭との連絡を図り、教育的効果の向上に協力すると共に、会員相互の親睦と福祉に寄与することを目的としております。

特集
4

◆学内イベントピックアップ オータムフェスティバルを終えて …… 26～27

- 緑晃佑(「オータムフェスティバル2023」実行委員長・法学部 政治学科3年)

◆学食取材 駒澤大学のおいしい学食 …… 28～29

◆大学だより …… 30～37

- 学生支援センター 厚生課からのお知らせ
高等教育の修学支援新制度のご案内／日本学生支援機構奨学金 募集説明会のご案内
自転車損害賠償責任保険等への加入について／国民年金保険料「学生納付特例」の申請について …… 30
- KUサポートからのお知らせ …… 31
- 令和5年度「学業成績表」について 教務部 …… 32～35
- 協定校への短期語学セミナー参加のすすめ …… 36～37
- 2024年度学費等納入のお知らせ …… 36～37

◆父母寄稿 …… 38～41

- 教育後援会の委員活動を終えて4年間を振り返る …… 38～39
段中明紀(総務部 部長)／杉野友也(厚生部 部長)
高野典夫(文化部 部長)
- 一泊参禅研修会体験記 内山克枝(厚生部) …… 40
- 新年賀詞交歓会報告 齋藤達(総務部) …… 41

◆教育後援会だより …… 42～47

- 令和5年度 教育施設等充実助成金 支援事業のご報告 …… 42
令和6年度 教育懇談会について
- 令和6年度 定期総会・駒沢キャンパス構内見学会のご案内 …… 43
「父母寄稿欄」への投稿について／編集後記 …… 44
- 会員アンケート用紙 …… 45
- ホームページのご案内 …… 47
令和6年度年間行事予定のご案内 …… 47



サークル紹介 駒澤大学ボランティアサークル ▶16～17ページ

【本文中の表記について】

GMS学部GM学科:
グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科



学校法人駒澤大学
理事長

石川 順之

龍飛鳳舞 自然と調和する畏敬の心

教育後援会の皆様には、教育環境の整備をはじめとする学生支援を中心に、会員相互の親睦や大学教職員との交流を通じて、駒澤大学の発展に多大なるご貢献をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。さらに、会長の櫻井秀則様をはじめ各委員の皆様方には、ご多用の中、教育後援会の運営にご加担ご法助いただき、誠にありがとうございます。

前号の会報でご報告がありましたように、令和5年度は、4年ぶりに対面での教育懇談会が全国14会場で開催され、八百人を超える会員の皆様にご参加いただいた様子を拝読いたしました。コロナ禍での進学に際して、不安を抱かれていたご家族の皆様にとって、少しでも不安が安んじられ、未来への希望へつながる機会になつておりましたら幸いです。参加された皆様のお声からもそうした様子が垣間見られ、今後より一層、大学と会員の皆様との交流を広げ、深い信頼につながるよう努める所存でございます。

令和6年は、能登半島地震や羽田空港事故などで、受難の年明けとなりましたが、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、今も惨事の影響下にある皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

今年も、辰年でございます。もともと農作業の暦で「草木の形が整った状態」を表す「辰」の文字に、「龍」が当てられたようですが、大学生になぞらえるなら、いよいよ社会に出る準備が整った頃合いともいえましよう。また、中国の「登竜門」の伝説を引用すれば、まさに大学そ

のものが、学生にとって社会に駆け昇っていく登竜門ともいえましよう。学生の皆さん一人ひとりが、目標に向かって、昇り龍のごとく凛々しく堂々と、そしてしなやかに成長されますことを願つてやみません。

ところで、皆様もご承知のとおり、他の干支の動物は実在するのに、「龍」だけは空想上の生き物です。当時の人々にとっては、実在するかのようには思われていた、もしくは実在を信じるほど身近な存在であったことは、今の我々の生活からも明らかです。皆様も龍と水の深い関わりは、ご承知のことでしょう。初詣にお参りされる神社仏閣で、龍の口から出る水で身心を清められた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

水はいくまでもなく、地球上のあらゆる命を育むために、無くてはならないものです。しかし、干ばつや雷雨など、人の思いどおりに雨は降りませんし、川も流れません。波も穏やかるときばかりではありません。そうした人知を超える壮大な自然の営みに、我々は無力であることを知らされ、敬虔に天へ願ひ、水の恵みを享受し、生命の営みをつなげていく証が「龍」に象徴されているといつてもよいのかもしれません。

いにしえより我々は、人知を超えた自然に対して、畏敬の念を抱いてきました。龍もまた、龍神様として古来より篤く信仰されてきました。畏敬とは、知恵や知識では到達できない存在を敬い、尊さや感謝の念を抱くことであります。が、翻つて自分個人に置き換えますと、自分

外の人もまた、自身の見方や考えを超えた存在でありますし、相手もまた同様であります。人知を超えた自然もさることながら、日頃そばにいる人とも互いに敬い、尊さや感謝の気持ちを持ち合うことは、いにしえから「龍」を敬い信仰してきたことと同じ道理なのではないでしょうか。私たちが「ありがとう」と相手に感謝を伝えるとき、またあるときは、仏像を前にして拝む姿は、等しく手を合わせて頭を下げてお辞儀をする姿です。人間であろうと仏様であろうと、畏敬の気持ちを伝える姿形として同じであるということでもありましよう。

AIや遺伝子研究など科学技術が発達し、人知を超える壮大な自然の営みは、その範囲が狭まりつつあるように感じる昨今でありますが、「龍」から思い起こされる「慎み深く、相手を敬い、感謝する」という畏敬の気持ちは、SDGSの達成に向けても助けになるものではないかと思っております。

変化と多様性に富んだ社会に羽ばたく学生の皆さんが、しなやかに生きていく力を養うためにも、在学中に多様な価値観や知に触れることなく、畏敬の気持ちを忘れずに受け継いでもらいたいと切に願う次第です。

末筆ながら、会員の皆様におかれましては、引き続き、本学の教育発展のために、ご法助賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご繁栄を心より祈念いたします。

合掌

広げたい学生支援の輪



駒澤大学教育後援会
会長

櫻井 秀則

日頃より駒澤大学教育後援会活動にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年5月に会長に就任し、委員の皆様と共に今年度の活動を行ってまいりましたが、退任の時期を迎えることとなりました。

短い期間ではありましたが、委員・保護者の皆様、大学、同窓会、駒澤会の皆様には多大なるご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

また、このたびの能登半島地震により、被災された皆様ならびにそのご家族、関係者の皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます。

教育後援会としては、大学と連携し被災地出身の在学生に対する経済的支援等を進めております。このような状況にあっても、学生に変わらぬ教育環境が提供できるよう努めてまいりたいと思っております。

何とぞ、ご理解ご支援のほどよろしくお願いたします。

さて、今年度につきましては、コロナウイルス感染症による制限も緩和され、多くの行事を開催することができました。

中止が続いておりました教育懇談会

は、昨年6月に全国14会場で開催することができました。六百八十人以上のご参加をいただいた東京会場では、総務部の皆様を中心に会場の準備、受付等を行い、大規模会場にもかかわらず速やかな進行が行えたと思います。

また、学長をはじめ学部長、職員の皆様には地方会場を含め現地での説明を行っていただき、誠にありがとうございました。

厚生部によるサークル応援では、これまで野球・駅伝応援を中心に行っておりましたが、今年度はボクシング部応援や大学主催のスポーツフェスティバルへの参加など、新しい活動にも意欲的に取り組んでいただきました。

サークル体験などを通じ、支援の拡充につながればと思います。応援等の際し、ボクシング部監督をはじめコーチ、スタッフの皆様には快くご承諾をいただき、誠にありがとうございました。

会報の発行においては、文化部によるサークル取材がオンラインから駒沢・玉川キャンパスでの現地取材となり、学生と直接対話する機会を増やすことができました。

コロナ禍では、活動休止により参加

学生の数が減少するなど大変苦労があったと思います。取材を通じて、そのような各サークルの状況や直面している問題を知る機会を作ることができたのではないのでしょうか。

学生から直接聞いた声が、新たな支援へつながれば幸いです。取材にご協力いただいたサークルの皆様、誠にありがとうございました。

これらの活動状況につきましては、教育後援会ホームページの各部便りにも掲載しております。大学の様子を皆様により身近に感じていただけるよう更新を行っておりますので、ぜひともご覧いただければと思います。

この他、学生への経済支援、食育支援、大学の教育施設・環境の支援など、教育後援会では幅広く活動を行っております。皆様には今後とも、教育後援会活動にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、一年間共に活動した委員の皆様への感謝と、駒澤大学のますますの発展、保護者・学生・大学関係者の皆様のご活躍、ご健勝を祈念し、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



©水上俊介

特集
1

プレイバック箱根駅伝

1月2日(火)・3日(水)に開催された箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)。

史上初の2年連続三冠をかけて挑んだ大一番でしたが、青山学院大学の快走の前に涙をのみました。
そんな今年の大会を振り返るべく、陸上競技部の藤田敦史監督や部員たちに感想を寄せていただきました。

区間	区間	距離(km)	選手名	区間タイム	区間順位	総合タイム	総合順位
往路	1	21.3	篠原 倅太郎	1時間1分2秒	1	1時間1分2秒	1
	2	23.1	鈴木 芽吹	1時間6分20秒	2	2時間7分22秒	1
	3	21.4	佐藤 圭汰	1時間13秒	2	3時間7分35秒	2
	4	20.9	山川 拓馬	1時間2分32秒	6	4時間10分7秒	2
	5	20.8	金子 伊吹	1時間10分44秒	3	5時間20分51秒	2
復路	6	20.8	帰山 侑大	59分53秒	12	6時間20分44秒	2
	7	21.3	安原 太陽	1時間3分13秒	4	7時間23分57秒	2
	8	21.4	赤星 雄斗	1時間4分49秒	4	8時間28分46秒	2
	9	23.1	花尾 恭輔	1時間9分41秒	5	9時間38分27秒	2
	10	23.0	庭瀬 俊輝	1時間9分33秒	4	10時間48分	2

第100回箱根駅伝を終えて

©水上俊介



駒澤大学
陸上競技部 監督
藤田 敦史

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は陸上競技部の活動に對しまして、たくさんのご支援およびご声援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

さて、年初に開催されました第100回箱根駅伝はチーム一丸となつて戦い、総合2位という形で終えることとなりました。当日はたくさんの方の温かいご声援をいただき、誠にありがとうございました。

昨年度、学生駅伝三冠を達成した中で、今年度の目標に「2年連続三冠」を掲げ、昨年度の駒澤史上最強チームへの挑戦という意味合いを持たせた上で、さまざまな準備をしてまいりました。

春のトラックシーズンにはトラックレースでのスピード強化、夏の走り込みシーズンにはスタミナの強化を行い、夏は例年通り、夏季強化合宿を陸上競技部全員で実施。4年生が引っ張っていく形で駅伝シーズンに向けての走り込みを行いました。すべては2年

連続での三冠達成のためと、主将の鈴木を中心に精力的に走り込みました。

その後迎えた出雲駅伝、全日本大学駅伝では、大きなプレッシャーのかかる中でも、子どもたちはのびのびと走り、出雲駅伝においては一度目の連覇、全日本大学駅伝においては二度目の4連覇達成と、この上ない結果を残すことができました。

そして迎えた三冠目がかかる箱根駅伝では、往路1区の篠原が冷静な走りその後続を引き離しトップで中継し、襷を受けた2区鈴木は終始一人旅となるも、想定通りのハイペースを刻み、1区に続きトップを死守。3区佐藤は終盤に青山学院の猛追を受け逆転を許すも、持ち前のスピードを生かして粘りきり、4区山川は寒さで震える体をコントロールしながら粘りの走りの中継。5区金子は鬼気迫る走り、往路2位ではあるものの、往路新記録での往路ゴールとなりました。

翌日の復路は、青山学院から2分以上離れてのスタートとなり、6区帰山は攻めの走りを展開、7区安原も諦めない姿勢で攻めの走りを貫き、8区赤星は最上級生としてチームに力を与える走りを展開。9区花尾は昨年走れなかった悔しさを前面に出す力強い走りを展開し、10区の庭瀬は力強い走りでチームの襷をしっかりと大手町のゴール

へ運んでくれました。

三冠を目指した中で、選手を勝たせてやれなかったことは、私の監督としての未熟さ、経験不足がすべてだと思っております。劣勢の中でも決して諦めることなく、懸命に優勝を信じて走り抜いてくれた選手たちには心から感謝しております。

私自身、大八木総監督が築き上げた大きな組織を引き継ぐにあたりさまざまなプレッシャーもありましたが、すべては子どもたちのためと自分に言い聞かせ、自分ができることを一生懸命にやると覚悟を決めた上で、ここまでやってまいりました。その中では、教育後援会の皆様方のご支援をはじめ、陸上競技部部長、総監督やコーチ陣、そして子どもたちにも助けられながらここまでやってこることができました。今後ますます

強く私の力だけではこのチームを強化していくことは難しいと感じておりますので、たくさんの方々に助けていただきながら、引き続き強い駒澤を作り上げていく所存でございます。

今冬は暖冬傾向にあります。朝晩の寒暖差が激しいよう

に感じております。皆様方におかれましては、変わりなくどうぞご自愛専一にお元気で過ごしてください。

結びに、駒澤大学教育後援会のみならずのご発展と皆様方のご健勝を多幸を祈念致しまして、ご挨拶の言葉に代えさせていただきます。今後とも陸上競技部への変わりぬぎご支援とご声援をよろしく願います。



©水上俊介

文字通り一丸となって、厳しい箱根のコースを駆け抜けた“チーム・駒澤大学”。
ここでは、そんな藤色の襷でつながれたメンバーたちの声を紹介します。

1区

©水上俊介



文学部 地理学科3年

篠原 倅太郎

第100回箱根駅伝の1区を走らせていただきました。区間賞を獲得することができたのはよかったのですが、総合2位という結果から考えると、もっと自分がやらなければいけないことがあったと思います。

今回の結果に満足している者はいないと思います。この負けをそのまま自分たちが弱いことの証明にするのか、それとも悔しさを糧に次につなげていくのか、全部自分次第です。第101回大会で一番に大手町に帰ってこられるように、1年間かけてもう一度挑戦していきたいと思います。

その挑戦をあたたく見守っていただければ幸いです。今回は応援、本当にありがとうございました。



©月刊陸上競技

2区

©水上俊介



経営学部 経営学科4年

鈴木 芽吹

今年度の学生三大駅伝でのご支援ご声援、ありがとうございました。今年度のチームは昨年度三冠した最強のチームを超えて、史上初の2年連続の三冠を達成するために1年間努力を積み重ねてきました。夏までの取り組みが実を結び、出雲駅伝連覇、全日本大学駅伝4連覇をすることができ、圧倒的な差を他校に見せつけました。しかし、箱根駅伝では青山学院に完敗し準優勝と、勝負の厳しさを痛感しました。最後に悔しい思いをしましたが、大きな目標に向かってチーム一丸となって取り組んできた1年間は、私の人生において大きな財産になりました。

私は卒業してしましますが、後輩たちは強い駒澤を継承していってくれると思うので、今後とも応援をよろしく願います。そして4年間ありがとうございました。



©月刊陸上競技

3区

©水上俊介



経済学部 経済学科2年

佐藤 圭汰

第100回箱根駅伝の応援、ありがとうございました。2年連続三冠という大きな目標を達成するための最後の戦となり、絶対に優勝しなければいけない大会です。個人的にも昨年度体調不良で出走できなかった悔しさがあったため、絶対にいい走りをしてやるという気持ちで臨みました。いい練習は積めていたので、自信を持ってスタート地点に立ちましたが、結果として自分のところで首位を逆転されてしまい非常に悔しい内容となりました。悪い流れを作ってしまったこと、チームには非常に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

この悔しさを来年の箱根で絶対に晴らし、また優勝の喜びを感じられるように、1年間しっかり練習していきます。たくさんの応援、本当にありがとうございました。



©月刊陸上競技

激闘を終えて

4区

©水上俊介



経営学部 経営学科2年

山川 拓馬

箱根駅伝の応援、ありがとうございました。

今回は自分がブレーキとなってしまい、チームに良い流れを作るための襷をつなぐことができませんでした。不甲斐ない限りでしたが、応援してくださったおかげでなんとか襷をつなぐことができました。今回は準優勝と悔しい結果になり、今までのレースでこれまでにないほどの悔しさを感じました。来年はリベンジをして、今回1分つけられた差を1分半返して優勝トロフィーを奪還します。

引き続き応援、よろしくお願いいたします。



©月刊陸上競技

5区

©水上俊介



文学部 歴史学科4年

金子 伊吹

今回は箱根駅伝の応援、ありがとうございました。

今年の初めに立てた2年連続三冠という目標まで一つとなっていて、必ずかなえると思い試合に挑みました。個人としては区間3位で走ることができましたが、先頭のチームに差を広げられて、チームの流れを断ち切る走りをしてしまいました。チームとしても目標達成できず、藤田さんや芽吹を胸上げすると言っていましたが、できずにとて悔しさが残ります。しかし、仲間と4年間無我夢中で目標に向かい努力できたことに後悔はありません。

卒業後も活躍できるよう頑張っていきたいと思います。



©月刊陸上競技

6区

©水上俊介



経済学部 現代応用経済学科2年

帰山 侑大

第100回箱根駅伝の応援ありがとうございました。

今回の箱根駅伝が、自身の初めての大学駅伝となりました。念願の箱根駅伝出走という夢はかなったものの、満足する結果を得ることができませんでした。先行する青学との差を詰めることが私の役割でしたが、逆に大きく離されてしまうという悔しい結果となりました。チームメイトにも迷惑をかけてしまい、申し訳なく思っています。この失敗を糧にし、悔しさを忘れずに練習に取り組んでいきたいです。チームとしても目標としていた2年連続三冠を達成することができませんでした。

今回は悔しい結果となりましたが、憧れの舞台で走れたことをうれしく思います。応援、ありがとうございました。



©月刊陸上競技

激闘を終えて

7区

©水上俊介



文学部 地理学科4年

安原 太陽

第100回箱根駅伝、ご声援をありがとうございました。今まで誰も目指すことのできなかった2年連続の三冠に挑戦できたことは、とても良い経験になりました。自身の走りについては、4年生としてゲームチェンジャーとなりうる走りをしなければいけない中で、大きく流れを変えることができませんでした。悔しい結果となってしまいましたが、自分としては思い残すことの無いレースでした。仲間を信じて最後まで全力で戦うことができたことはチームにとってプラスになったと思います。

最後に、多くの方々のご声援があったからこそ、我々は2年連続の三冠に挑戦し、戦うことができました。応援し支えてくださった全ての方々に感謝申し上げます。4年間ありがとうございました。



©月刊陸上競技

8区

©水上俊介



法学部 法律学科4年

赤星 雄斗

箱根駅伝の応援、ありがとうございました。

今回は2年連続三冠がかかっていましたが、優勝ができず、これまでにないくらい悔しい思いをしました。予想以上の差で禪をもらいましたが、自分の区間で流れを変えようと臨みましたが、しかし、思うような走りができず後悔の残る大会となりました。

箱根の借りを箱根で返せないのが、この悔しさを実業団でのマラソンで世界大会に出場するという目標に活かしていきます。また後輩には、来年はこの借りを返してもらいたいと思います。

最後に、多くの応援や支援があり、とても充実した4年間を過ごせました。ありがとうございました。これからも駒澤大学の応援をよろしくお願いします。



©月刊陸上競技

9区

©水上俊介



経済学部 商学科4年

花尾 恭輔

第100回の箱根駅伝の応援、ありがとうございました。今年度は故障に苦しみ出走できるか不安でしたが、最後はみんなと駅伝ができて幸せでした。また、沿道での途切れることのない応援が自分の背中を押してくれました。

結果は悔しいものとなってしまいましたが、後悔はありません。次のステージで今回の悔しさを晴らせられるように頑張っていきたいです。

引き続き応援のほど、よろしくお願いします。



©月刊陸上競技



©駒大スポーツ

10区

©水上俊介



法学部 法律学科3年

庭瀬 俊輝

今回は自分にとって初めての箱根出走となり、緊張するものと思っていましたが、リラックスして楽しく走ることができました。

チーム目標である2年連続三冠のゴールテープを切ることができなかった悔しさはありますが、チーム全員が妥協なく、万全の準備をして迎えた大会だったので後悔はありません。

この1年間、4年生の先輩方にさまざまな面で支えてもらいながらここまで成長することができたことにとっても感謝しています。来年度は最上級生となりチームを作っていく立場になるわけですが、さらに強い駒澤を作っていくことを約束します。

応援して下さった方々、本当にありがとうございました。これからも駒澤大学の応援をよろしくお願いします。



©月刊陸上競技

主務

©水上俊介



文学部 国文学科3年

並木 大介

第100回箱根駅伝のご声援、ありがとうございました。

結果としては、準優勝で、2年連続の三冠という目標へは一步届きませんでした。選手たちは、誰一人、油断も慢心もせず、いつも通りの謙虚な気持ちで臨んだレースでした。

今年は、チームに昨年勝たせていただいた分、チームを勝利に導けるように支えたかったのですが、まだまだ力不足で最後は負けてしまい、悔しいです。

来年は、主務3年目で、個人的にも最終年となります。箱根だけで見れば、負けてしまいましたが、三大駅伝で考えれば、出雲、全日本は王者です。出雲は3連覇、全日本は史上初の5連覇へ向け、連勝を途絶えさせないようにサポートしていきます。その流れにのって、箱根も王者奪還をします。

今回の敗北から、学んだものが多くありました。一人ひとりが、確実に感じたと思います。

来シーズンの駒澤大学陸上競技部の活躍をご期待ください。今後とも、熱いご声援をよろしく願っています。



©駒大スポーツ



全日本大学駅伝応援記

— 全日本大学駅伝対校選手権大会 —



昨年11月5日(日)に開催された全日本大学駅伝(全日本大学駅伝対校選手権大会)。

大会4連覇がかかった駒澤大学は、期待に応じて先頭でゴールテープを切りました。

今回も多くのご父母や関係者が応援に駆け付けましたが、代表して教育後援会文化部部长に応援記をお寄せいただきました。

注目の中での快走



教育後援会
文化部 部長

高野 典夫

2023年11月5日(日)、秩父宮賜杯第55回全日本大学駅伝対校選手権大会(愛知・熱田神宮西門前→三重・伊勢神宮内宮宇治橋前 8区間 106.8キロメートル)が開催されました。教育後援会では、役員が地元三重県支部の皆さんと一緒に、伊勢神宮内宮宇治橋前のゴール付近で選手を応援しました。

レースは、駒澤大学が1区で先頭に立つと、その後は一度も先頭を譲らない完璧な内容でゴールテープを切り、4年連続の優勝となりました。これで最多優勝回数を16に伸ばしただけでなく、大会史上初となる、38〜41回大会に続いて、2度目の4連覇という快挙を成し遂げました。選手をはじめ関係者の皆様、本当にお疲れさまでした。

さて、この大会は出雲駅伝、箱根駅伝と並ぶ学生三大駅伝の一つに数えられていて、ゴール付近には、各大学の関係者や駅伝ファンが多く集まります。特に駒澤大学は、この大会の最多優勝校で、昨年10月に行われた出雲駅伝も優勝していることから注目度も高く、「駒澤大学」のロゴの入ったジャンパーを着ていると、たくさんの方が声をかけてくださいます。レースを見守り、選手の到着を待っている間、応援している方にお話を伺うことができましたので、ここで紹介します。

海外から応援に

ゴール付近で、海外から応援に来られた方に出会いました。ベルギー在住の水岡さんです。水岡さんは中学生のお嬢さんが陸上競技をしていることもあり、以前から駒澤大学陸上競技部のファンで、熱心に応援されています。お二人とは、前回大会の際も同じ場所でお話したのですが、今回も、お嬢さんの秋休みを利用して、遠路はるばる応援に来てくださいました。

駒大O.B.O.Gも応援に

同じくゴール付近で、駒大OGの谷内さんと横山さんにお話を伺いました。お二人は学生の時からの友人で、東京から応援に駆け付けてくださいました。陸上競技部の活躍は卒業生としてとても誇らしく、自慢できると話されていました。

次にゴール手前でお話を伺ったのは、駒大OBで伊勢市在住の熊谷(くまがや)さんで、同期卒業の五人の方と一緒に応援されていました。茨城、東京、神奈川、三重、香川と居住地はバラバラですが、卒業から40年以上たった今でも駅伝応援に集まり、旧交を温めているとのことでした。たくさんの方の応援、ありがとうございました。

写真提供:陸上競技マガジン



☆=区間新 ★=区間賞

区間	距離(km)	選手名	区間タイム	区間順位	総合タイム	総合順位
1	9.5	赤津 勇進	27分19秒	★1	27分19秒	1
2	11.1	佐藤 圭汰	31分1秒	☆1	58分20秒	1
3	11.9	篠原 倅太郎	33分39秒	2	1時間31分59秒	1
4	11.8	赤星 雄斗	34分26秒	2	2時間6分25秒	1
5	12.4	伊藤 蒼唯	35分56秒	2	2時間42分21秒	1
6	12.8	安原 太陽	37分16秒	★1	3時間19分37秒	1
7	17.6	鈴木 芽吹	51分13秒	3	4時間10分50秒	1
8	19.7	山川 拓馬	58分10秒	★1	5時間9分	1

2024 二十歳の抱負



法学部 政治学科 2年

入學 佳成

昨年の8月に二十歳を迎え、いよいよ大人の仲間入りをする年齢となったことにまだ実感がありません。ここまで私を育ててくれた人々、特に両親への感謝の気持ちでいっぱいです。昔よりも両親の手を借りることは少なくなりましたが、それでもこうして大学に通い、毎日おいしいご飯を食われているのは、ほかでもない両親のおかげです。

大学生になり、多くの人々と交流するようになりました。電気美術研究部に所属し、音響スタッフとして軽音楽や吹奏楽、お笑い、演劇などの個性豊かな学生と関わってきました。一方で学部ゼミやジャーナリズム・政策研究所にも所属し、経験豊かな先生の指導を受けながら、同じ分野に興味を持つ学生と高め合ってきました。

新成人として、これからも人々との出会いや経験を大切にしていきたいです。また、社会に出るための準備もしていかなければなりません。やる気が出てきた反面、とうとうこの時が来てしまったという不安もまたあります。

その不安があるからこそ、憧れる大人の姿へ近づけるよう努力していくのみです。そして、何より両親に恩返しをしていくことが私の目標です。

そのために、まずは目の前の大学生活に一生懸命取り組んでいきます。



法学部 法律学科 2年

小山 はるか

このたび、無事に二十歳を迎えることができ、大変うれしく思います。これまでの20年間、深い愛情で育て支えてくれた家族、一緒にいてくれた友達、お世話になった先生方、関わってくれた全ての人に感謝申し上げます。

今後の目標は、責任ある行動や、自立した芯のある意思をもって、今までお世話になった方々、生まれ育った地元に貢献することです。20年の間で多くの人生の分岐点がありました。一番大きかった分岐点は、上京し大学に進学する決断をしたことです。これからの環境の変化と大学生活への期待や不安が入り混じり、気持ちが揺らいだときもありました。上京してからも一人が寂しくて辛いときがありました。そんな時、「いつでも帰っておいで」と言ってくれた両親、一緒にの道を志す友達、背中を押してくれる高校の先生がいたからこそ今の私があり、とても感謝しています。これからは、私が恩を返す番です。さらに、家族や友達だけでなく、これから二十歳を迎える後輩たちの良いお手本となるよう、努力を惜しまないつもりです。

大人の仲間入りをした自覚をもち、責任ある行動や言動とともにこれからの分岐点に立ったとき、人に恥じることのない、後悔しない選択をすることを誓います。



CIRCLE サークル紹介 Pick Up!

体育会ヨット部

- 創立年:1970年
- 部員数:12人(男:9人、女:3人)



体育会ヨット部とは?

私たち駒澤大学体育会ヨット部は八景島を拠点に、「部員全員が初心者からのスタートで関東大会決勝進出」を目指して活動しています。

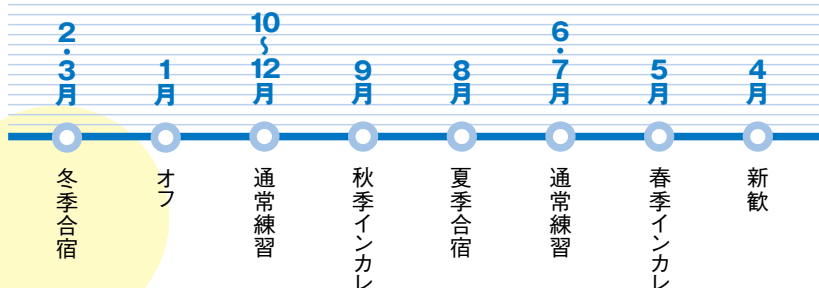
体育会の部活ではあるものの授業期間は週2回、長期休暇期間は週4回の練習で、プライベートとの両立も可能です。

ヨットは自然を相手にするスポーツで、風や波、船からの情報を頼りに順位を競うレース競技です。監督やOB・OGに指導してもらいつつ、部員同士で試行錯誤しながら練習に取り組んでいます。

プライベートでは学年関係なく仲が良いです! 海に興味がある方、ヨットに乗ってみたい方、お待ちしております!

今年は「創り出せ」というスローガンのもと、関東大会決勝進出をなんとかしてでも獲得します。応援のほどよろしくお願いいたします!

年間活動予定



VOICES OF MEMBERS

[部員の声]

マネージャー
文学部
歴史学科1年
保坂 美涼

私のやりがい

私は、友達と回っていたサークルフェスティバルでヨット部に会いました。先輩たちに勧められ、試乗会に参加することにしました。先輩たちはみんな優しく、一から丁寧にヨットについて教えている姿がとても印象に残っています。マネージャーとしてヨット部に入部すると、主にご飯作りを担当することになりました。選手たちがおいしい! と何回もおかわりしてくれる姿を見るのが、私にとって部活をしていて幸せな瞬間です。ヨット部は個性豊かな部員たちが学年・男女隔たりなく仲良しなのが魅力だと思っています。

新しいスポーツに参加してみたい人や海が好きな人など、ぜひ一度ヨット部に遊びにきてください。

書類係
経済学部
経済学科2年
大久保 颯人

最高の仲間たち

私は北海道から上京して、ヨットというよくわからないスポーツに出会った。入部当初は何もわからなく、この先やっていけるのだろうかと不安だった。しかし、最高の先輩や同期に恵まれ、決勝進出という目標に向かって日々の練習を楽しく、精一杯頑張ることができた。

ヨットは奥が深く、まだまだわからないことがたくさんあるが、これからも部の全員で切磋琢磨して目標の決勝進出を達成したいと思うので、応援よろしくお願ひいたします。

主将
経営学部
経営学科3年
鴨川 弘太郎

最高の仲間と最高のスポーツを

私は新しいスポーツに挑戦したいという思いのもと、ヨット部に入部しました。しかし当初は部員が少なく知識も浅かったため、練習に集中できる環境ではありませんでした。そこで部員と工夫し、たくさんの新入生を獲得することに尽力しました。部員が増えてからは競技に専念できるようになり、ヨットの自然を相手にする奥深さやチームで成功することの難しさを体感しました。現在は競技成績を追求できるように、残りの学生生活の全てをかけて練習しています。

これまで私を支えてくれた人たちへ、「関東大会決勝進出」を達成し駒澤ヨット部を大きく強くすることで恩返しできればと思っています! 応援よろしくお願ひいたします!



取材を終えて

12月3日(日)、八景島マリーナ(神奈川県横浜市)内にあるヨット部合宿所にて取材を行いました。駒澤大学から電車を乗り継いで1時間半。さらに最寄り駅から15分ほど歩いたところに合宿所があります。目の前に広がる海に開放感を感じながら合宿所に到着すると、部員の皆さんは強風にあおられながら帰港したヨットを大型台車に載せて引き上げているところでした。軽快に走るヨットのイメージとは裏腹に、重労働の面もあるのだと感じました。

当初の取材予定では、ヨットに並走するレスキューボートに取材班が乗船して海上取材を行うことになっていました。しかし、強風のためマリーナから出艇禁止の旗が揚げたことから、陸上での取材に変更しました。学生たちの自律的活動を尊重しつつ安全管理が施されていることを知り、正直なところとても安心しました。

部長の鴨川さんはヨット競技の厳しさを痛感しながらも、「合宿所では部員と共に過ごす時間がとても長く、他大学とも交流できる。人と向き合うことの大切さを学び、人間性を磨き、競技にもしっかり向き合っていきたい」、「ヨット部OBの方からたくさんの差し入れをいただき感謝している。期待に応えられる競技成績を残していきたい」と熱い思いを語ってくださいました。一方、現在の困りごとはヨットの経年劣化により補修の頻度が高くなっていることだそうです。ヨット購入には多くの費用がかかるため、何か良い方法がないか知恵を絞って考えている様子うかがえました。

今回、海から上がった直後にもかかわらず、部員の皆さんが爽やかな笑顔で応じてくださり、ありがとうございました。これからもヨット部のますますのご活躍を楽しみにしています。



CIRCLE

サークル
紹介

Pick Up!

駒沢大学ボランティアサークル

- 創立年:1994年
- 部員数:177人(男:91人、女:86人)



駒沢大学 ボランティアサークルとは？

私たち駒沢大学ボランティアサークルの活動は公園の掃除や児童館で子どもと遊ぶことを中心に、そのための準備を行ったり、高齢者や障がい者の皆様とコミュニケーションをとったり、ゴミ拾いをしたり、地域で催されるイベントのお手伝いなどをしたりと幅広く行っています。

さまざまな学部・学年の人が集まり、和気あいあいとしながらも真面目に活動しております。また、活動先の担当の方や現場で触れあう皆様との交流を通して地域とのつながりを実感することができます。これはとても素敵なことだと思います。

基本的に自由参加で、ご興味のあるボランティア開催日に予定が合えば誰でも参加ができます。積極的に参加したい人も、「一度はボランティア活動に参加してみたい!」という人も大歓迎です。皆様がボランティアサークルに来られることを待っています! ぜひ一緒に活動しましょう!

年間活動予定

3月	2月	1月	12月	11月	10月	8月	5月	4月
卒業生送別会、卒業コンパ	幹部交代式	新年会	冬旅行	オータムフェスティバル	オータムフェスティバル準備	夏旅行	多摩川ごみ拾いなど	サークルフェスティバル、 新入生歓迎会

VOICES OF MEMBERS

[部員の声]

渉内長
法学部
政治学科3年
前田 光太郎

子どもと関わる 楽しさと自身の成長

ボランティアサークルに最初に参加したころ、子どもたちとの関わりに苦手意識を感じていました。しかし、子どもたちは素直であり、関わっていくには柔軟なコミュニケーションが必要です。子どもたちと交流する機会が増えるにつれ、彼らの成長や発達に対する理解が深まり、その成長をサポートすることの楽しさを実感するようになりました。自然な流れで子どもたちとの絆が深まり、彼らが大好きになるまでの道のりを歩むことができました。また、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごすことで、ストレスが軽減され、心がリフレッシュされました。



取材を終えて

まずは取材に協力してくれた「駒沢大学ボランティアサークル」幹事長の津山様にお礼申し上げます。

さて、皆さんは「ボランティア」と聞いてどのようなイメージが浮かびますか？「ボランティア」の定義を調べてみると「自発的な意志に基づき自主性、社会性、無償性を伴う、他人や社会に貢献する行為」とあります。一言にまとめますと「無償の愛」でしょうか。

「駒沢大学ボランティアサークル」では地域に密着した活動として、近隣の児童館で子どもと遊んだり、多摩川でゴミ拾いをしたりしているそうです。決して強制することなく、「ゆるーく参加する」もよし、「しっかり参加する」もよし、どちらでもよいそうです。

今回の取材を通じ、「ボランティア」とは、自分ができることを少しずつ社会に返還することかと思いました。私もまずは家の中のゴミ拾いから「ゆるーく参加」したいと思います。この記事をお読みいただいた保護者様も学生さんも、気が付いたときに大丈夫なので、「無償の愛」を周りの皆様に配ってみてはいかがでしょうか。

副幹事長
経済学部
経済学科3年
出口 隼也

人と交流する 楽しさ

ボランティアでは、雇用関係とは違う対等な関係で老若男女、さまざまな人と交流することができます。ボランティアサークルはそんなボランティアを気軽にできる機会を私たちに提供してくれます。実際に子どもたちと追いかけてこしたり、他大学の学生さんと企画を話し合ったり、保護者の方と談笑したり、年長者の方とその日のボランティアについて感想を述べ合ったりなど、それはもう、たくさんの人と交流することができました。

せっかく自由な大学生活、大学内だけ、同年代だけでなく、大学の外に出てたくさんの人と交流してみませんか？

幹事長
法学部
政治学科3年
津山 瑚太郎

ボランティア ならではの経験

大学に入って何かはやりたい！人の役に立てたらうれしい！と思っていたため、この駒沢大学ボランティアサークルに興味を持ち、入りました。

そこでは子どもさんの相手から地域で催されるイベントの手伝い、障がい者の皆様のお手伝いなどまで、幅広く経験することができ、このサークルに入らなければできないことだらけだったと思います！

仲間と協力して地域に貢献する喜びを得る経験はかけがえのないものになること間違いなしです！興味がある方は、ぜひ駒沢大学ボランティアサークルへ！



地方で活躍する 駒大卒業生の 皆さん

第21回

輝く卒業生に
Close Up!



私は今、福島県福島市で市職員として働いています。地元高校を卒業後に駒澤大学へ進学し、大学卒業後に地元へ戻ってきました。

地方から駒澤大学に進学した学生の中には、首都圏での就職を念頭に置かれている方も多いと思います。今回は私の学生史と福島で働くことになった経緯を含め、私の仕事に対する考えを簡単にご紹介します。

私は高校生のとき、管弦楽部に所属しヴィオラを演奏していました。中学生まで音楽とは無縁の人生を歩んでいましたが、部活の雰囲気魅了され音楽に挑戦することになりました。そうして管弦楽部に所属したはいのもの、いざ楽譜を渡されたときには絶望しました。何もわからん。何かし

何を目指すか



福島市役所
政策調整課

朽木 康博さん

福島県桑折町出身
福島県立福島高等学校卒業
駒澤大学文学部
地理学科地域環境研究専攻卒業(2019年3月)

らの楽器経験者がほとんどの中、そもそも音符の読み方など心得ていなかった私はどん底でのスタートでした。先輩や仲間と切磋琢磨しながらの練習は楽しくも、余裕があるものではありませんでした。そんな中でも練習後の雑談や食事、仲間と遊んだ経験はかけがえのないものでした。

私は大学でも引き続き管弦楽をするため、管弦楽団に所属しました。演奏に対し余裕がなかった高校時代とは違い、大学ではその点で余裕が生まれました。そうして、活動の中で演奏のことしか頭になかった矮小な考えから、団の運営にも目を向けられるようになり、幹部学年時には副リーダーを務めました。しかし、当時の管弦楽団は規模が大きかったこともあり、副リーダーの時は常に悩みごとが尽きませんでした。団の財政や演奏会の





運営、指導トレーナーとの各種調整など、多方面から団と向き合い、団員にとって何が最適なのか、日々各担当と暗中模索しながら活動しました。就職を意識する時期にはこのときの経験が礎となり、仕事をする上でも多角的な視点を大事にしたい、それが可能な仕事に就きたいと考えていました。

公務員は、財政、環境、産業、文化など、実に多角的な視点で組織と向き合うことができます。私はその中でも、高校時代仲間とともに青春を過ごした地元福島を支えたいという思いから、福島市役所という職場を選びました。

私はこれまでに二つの部署を経験しています。入庁時は住民税の計算関係の部署に、そして二つ目の現在は政策関係の司令塔と呼ばれる政策調整課に所属しています。政策調整課といってもいまいちピンとこないかもしれませんが、企業や大学との連携に関することが私の主な役割です。つまり、企業や大学と新たな政策事業を行う際の内部調整役です。税金算出と政策の元締め、既に全く別の視点から福島市を捉えるという意味ではやりたかったことができていくのかもしれない。今は、今後配属される所属を含め、それぞれの立場から福島市民や福島市組織の課題

解決に奮闘する、という経験を雪だるま式に積み上げ、それを生かして福島市を盛り上げていくことを目指しています。

しかし、日々の業務に追われていると、自分が何を目指していたか失念することがあります。そんなときは、日々の業務だけがすべてではありませんので、仕事以外の時間に心をリフレッシュさせることも大切です。私には、音楽鑑賞や旅行、バスケットボールなど、多くの趣味があります。

また、定期的に自分の目指す姿を顧みるようにもしています。そうすることで、仕事に対し及び腰にならずに前向きになれる気がするからです。仕事では受動的になったらそれ以上の成長は見込めないと思います。自分の目指す姿に近づけるよう、仕事をうまく利用し企図していくことで、自身のモチベーションを維持することが大切だと考えています。

以上、まだまだ社会の波にもまれ足りない若造の意見ですが、頭の片隅にでも置いていただければ幸いです。



特集
5

経営学部

経営学科

市場戦略学科



経営学部は1969(昭和44)年に創設されました。その頃の日本では、のちに海外で「ケイレツ」として広く紹介される企業系列(タテの企業間関係)や企業集団(ヨコの企業間関係)など、日本型の経営システムが確立しつつある時期でした。アメリカやドイツで本格的な経営学がスタートして



経営学部長
教授
中川 淳平

経営学部について

から120年くらい経過しているので、本学部はその半分に近い歴史をもっていることになりました。

経営学は、19世紀終盤から電力・石油の利用を中心とする第二次産業革命期に大企業が誕生し、ヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源の効率的な利用が必要とされはじめた20世紀初頭より発展を遂げてきました。

ヒトの側面では労働条件のみならず、従業員のモチベーション向上策などが検討され、モノづくりに関しては、勤に頼らない規格品の大量生産とバラツきの無い管理手法が発達し、カネについては金融市場を通じた不特定多数の投資家からの資金調達とその効率的な運用手法に関する研究蓄積をもとに、近年では投資家と企業との間の関係性をよりサステイナブルにしておく発想が求められています。

情報の観点について、企業のマーケティング活動では、消費者を年齢、地域などによって分類し、マスメディアを通じた広告活動のみでは自社の顧客を創造するのが困難な時代となり、ポイントの付与やサブスクリプション(定期的な購入)などによる自社への囲い込みが進み、個人情報保護しつつ顧客データの管理なども強く求められています。そこで、経営学部でもマーケ



ティング分野や経営科学分野の講義科目、ゼミナールについても強化を図るべく、経営学科に加え市場戦略学科を設置し、2学科体制として順調に成長しております。経営学部のカリキュラムの特徴としては「企業を読む力」を高めることを主眼とした「現代マネジメント」があり、双方向型の講座や、実務家の方をお招きして実践的な学びの機会が得られる講座を複数開設しています。また、経理研究所と連携を取り、会計学に関連する各種資格取得希望者への配慮がなされています。学生の自発的、主体的な取り組みとしては経営学部公認の学生団体KOSMOSが、ゼミナール選びをサポートする「ゼミフェス」の開設や、仲間づくりのサポートを行っています。

経営学科について



経営学部
経営学科学長
教授
村山 元理

経営学科は現代社会を動かす企業を多様な視点を学ぶ場で、未来の経営人材の育成を使命としています。就活を控えて経営学部はもっとも人気の高い学部となっています。

経営学科の1年生は、経営学基礎・企業論・簿記学A・B、会計学A・B、経済学概説A・Bが必修科目となっています。企業組織や経営管理の初歩から、お金の流れを管理する会計科目、そしてミクロ経済学やマクロ経済学も学びます。

新入生セミナーでは、友達作り、資料検索、レポートの書き方、グループ学習などを学びます。

2年次からは、企業経営・企業会計・経済分析・金融キャリアの4コ

スに分かれた専門科目や演習Iが始まります。より高度で主体的な学習の場、人間成長の場としての演習(ゼミ)の参加を強めに勧めています。しかし半分の学生しか履修しておらず、増加策が課題です。交換留学生や公認会計士の合格者がいることは朗報で、多くの学生はアルバイトやサークル活動、インターシップなどでもかなり多忙な日々を送っています。

2020年は1年間入構禁止でしたが、対面授業は戻ってきました。DXが進む中で2023年度からは「データサイエンス・AI教育プログラム」も開始。対面授業に出来ない学生が増える中で、いかに人間力を高める教育ができるかを教員一同で模索しております。



市場戦略学科について



経営学部
市場戦略学科学長
教授
中野 香織

市場戦略学科では、市場における顧客の視点から、企業活動を捉えることを重視しています。価値観が大きく変化する時代において、社会で何が求められているのかを理解できる人材を育成しています。

本学科には三つのコースがあります。マーケティングや消費者行動を学ぶ「市場創造コース」、データサイエンスやデータ分析に関わる理論を学び、実践する「市場分析コース」、多様な産業の特徴や起業に関する基礎知識を身につける「現代産業・起業コース」があります。

これらの講義で学んだ理論を実践する場として、少人数教育である演習(ゼミ)の活動の一部をご紹介します。

- ① データ分析・調査からデータを収集し、統計解析ソフトを用いてデータを分析します。その結果から現象を読み解き、仮説を検証します。
- ② 学外：学外に出て研究発表大会やビジネスコンテストへ参加し、他大学の学生と切磋琢磨しています。
- ③ 企業：企業と協働したゼミ活動や、企業主催のコンテストへ参加しています。
- ④ 地域：地元小学校との連携企画や世田谷区主催の社会貢献活動へ協力しています。

経営学部では、こうした学びの最新情報についてウェブサイト情報配信しています。経営学部と経済学部の違いがわかる動画もあります(2022年制作)。ぜひご覧ください。



経営学部
ウェブサイト



経営学部と
経済学部の違い
(YouTube動画)



経営学部
経営学科
講師

柳 綾子

2023年4月に経営学部経営学科に着任しました。柳綾子です。よろしくお願いたします。専門研究領域は、税務会計・税法です。大学では法学部に所属し法律を学び、大学院では法律（税法）および会計を学修しました。さらに税理士登録をし、税理士法人において会計・税務・コンサルティング業務等も行ってきました。このような経験を活かしながら、学術的な部分はもちろんですが、資格取得や実務的な部分も講義に取り入れています。

2023年度は1年次必修科目の「会計学A・B」と、専門分野でもある「税務会計論」を担当しています。会計は、経済社会において不可欠なシステムであり、組織内外のさまざまな利害関係者（株主、債権者、取引先など）の意思決定に有用な情報を提供しています。そのため、会計の知識は特にビジネスパーソンなどに幅広く求められる必須な知識となります。1年次には、会計学の全体像および基本的な会計用語を理解し、さらに企業の財務諸表を読み解くことができるように講義を展開しています。ただ、会計に関しては苦手意識のある学生がいるのも事実で、なるべく受講生が知っている企業を例にあげて、経営戦略と会計を絡めながら講義を進めています。また、2年次以降に履修可能な「税務会計論」では、税法（特に法人税法）の規定に従って課税所得および税額を計算することにより、租税債務を確定するための会計を学修します。この課税所得は、企業会計等を基礎として計算される部分も多いため、企業会計と密接な関わりを

持っています。そこで講義では、企業会計と関連させながら、法人が課税所得および税額を計算し、申告・納税する一連の税務会計手続について、法人税法の理論を中心として体系的に学修します。

現在研究しているテーマは、企業再生に関わる税制と組織再編税制における租税回避の否認規定の解釈・適用についてです。企業再生税制は、企業再生時（会社更生法の適用時などに債務免除益等の益金が生じた場合、法人税が課されると企業再生の妨げになるため、期限切れ欠損金についても損金の額への算入を認めるなど、税制面から企業再生支援をするというものです。税法の平等性・公平性・中立性の観点から、企業再生税制について分析・検討を行い、アメリカやドイツなどの税制とも比較検討し研究を進めています。また組織再編税制については、企業の経営戦略実現のために行われる組織再編成を利用した租税回避行為に関する事例であるヤフー事件やTPR事件などを取り上げ、その解釈・適用を研究しています。

今後も企業税制に関して、比較法研究の視点から、内外の税制の理論と実践に関する研究を深めていきたいと思っています。



教員ピックアップ

専門分野 会計学、企業分析論

「企業分析論」を担当しております。市場戦略学科の塚原慎と申します。経営学部にて赴任して2年目になります。専門は会計学であり、とくに企業の財務アーカイバルデータを用いた実証研究を行っております。どうぞよろしくお願いいたします。

「企業の分析」と耳にしたとき、皆様はどのようなものをイメージされるでしょうか。皆様、つまり分析者の主たる関心や立場により、その目的・方法はさまざまなのものが挙げられるのではないかと拝察します。もしかすると、企業経営のあり方に関する体系的な知識習得を目指す経営学部における授業の多くが、広い意味での「企業分析」といえるのかも



経営学部
市場戦略学科
准教授
塚原 慎

れません。その中で私の授業では、企業分析の目的を「履修者の各自が、納得感を伴ったよき経済的な判断(意思決定)をできるようになること」と設定し、そのための手段として「会計学」の学修から得られる知見を最大限活用しよう、ということを強調しております。会計学の知見を活用した企業分析によつては、会計情報を持つ「定量化の力」の恩恵を受けることができます。以下に簡単にその内容を紹介します。

現在、日本には約4000社の上場企業が存在しております。これら企業が営む事業・規模・地域等はどれもさまざまであり、その活動のすべてを直接観察することは不可能です。しかしながら企業が公表する会計情報には、彼らの行動(の結果)が「数値化」されており、そのため、この数値をもとに分析指標を算出することで、時系列比較や同業他社との比較、特定のベンチマークとの比較を行うことが可能になります。これは、プロ野球選手の「打数」「安打」というデータをもとに、「打率」を計算することで、選手間・年度ごとの比較が可能になることに似ています。

いわゆる「老後2000万円問題」を端緒として、高等学校教育においても投資教育の必要性が議論される潮流が世間にはあります。2024年からは新NISAの制度も始まりました。株式等への投資は「どの企業と経済的に関わっていくか」を決定する、経済的意思決定の実践の場そのものです。また学生の皆さんの多くは、一般的な投資というかたちに限らず、企業との関わりを「就

職」というかたちで決定することが求められます。これらには当然に「模範解答」ないし「必勝法」があるわけではなく、何らの「保証」があるわけでもありません。ただし不確実性の高い将来を見通すためにも、「今見えているはずのもの」をクリアにしようとすることや、自身と関わりを持つ可能性のある企業の実態について、数値的根拠に基づき、「納得感」を伴い判断できるようになることは、これからの時代に必須のスキルになると考えます。授業や演習を通じ学生とともに学んでいく中で、「自ら考え、納得のいく意思決定ができるようになる」ための手助けをしていくことができると考えております。





このゼミに注目!

中村 一成ゼミ

- 専門分野: 日本経済史
- 演習テーマ: 近現代日本の社会経済史

**「いま」を知り、
未来を見とおすために、
過去を探る**



経営学部
経営学科
准教授

中村 一成

中村(一)ゼミでは「近現代日本の社会経済史」をテーマとして研究をしています。過剰な情報が氾濫し変化も速い世の中の潮流のなかで、今日では脊椎反射的とも呼ぶべき速度での情報処理能力が求められるようになっていきます。しかしそれだけでは、ともすれば目の前で生じる事象を「いま」だけの材料でもって判断・評価するような、近視眼的な思考態度に陥ってしまいます。過去の積み重ねの先端に「いま」があり、その延長線上に未来を見とおすことができる、そのような長い時間軸でものごとを考える訓練を本ゼミでは行っています。

とはいえ、何か特別なメソッドを用いているわけではありません。基本は文献の輪読という、いたってクラシカルな学びの方法です。全員が事前に共通の文献を熟読し論点を提示し合い、それらをめぐって意見を出し合う過程を通じて自分だけでは到達できなかった理解の高みに至る、ということを地道に繰り返していきます。まずは一人ひとりが孤独に文献と向き合うことが求められますが、その先では仲間とともに

にもう一段高いレベルの理解を目指す、という点にゼミでの輪読の意義があります。

このとき「つるさくゼミ生に求めていることは、論点を疑問の形式で、とりわけ「なぜなのか?」という形式で提示することです。「なに?」「いつ?」「どこで?」などといった疑問については、いまどきの大学生はすぐに「ググって」調べられます(その場合も依拠したWebサイトの信頼性をしつこく問います)。そうした調べればすぐ判明する事実を踏まえてもなお残される「なぜ?」を探る努力の積み重ねが、課題を発見するという汎用的な能力を涵養していきます。

また、歴史は時間軸を意識しながら学ぶものですが、同時にその時々における空間的な広がりを意識することも大切です。空間感覚を身に着ける機会として、本ゼミでは「日本経済史街歩きツアー」を実施しています。これまでに「東京駅編」「ミナト横浜編」「本郷・上野編」を実施してきましたが、実際に自分の足を使って歩いてみると、文献の字面を読んで分かったつもりになっていたことがらについて、空間的なスケールにおいてとらえ直す基準を獲得することができま

す。東京近辺には新たな発見をし得る街がたくさんありますし、いずれは少し遠出をして地方都市を歩くことを通じて、東京の街を相対化することにも取り組んでいきます。



学生からの一言コメント

このゼミでは、2年生から3年生までは一年間を通して日本経済史にまつわる文献の輪読をしています。輪読を通して、自分一人では理解のできない疑問について、ゼミのみんなで知識を出し合うことができます。もちろん、私たちゼミ生だけの知識では解決しない疑問もありますが、先生がヒントとなる知識を提示してくださったり、最終的に解説してくださったりするので、疑問を抱え続ける心配はありません。

今年度は時間割上でできませんでしたが、昨年度までは2・3年生の合同ゼミを行っていたこともあり、より多くの疑問を消化することができました。4年生の卒論に関わる疑問を収集するのに、輪読はすごく充実した時間です。

経営学科3年

西村 陽菜





このゼミに注目!

武谷 慧悟ゼミ

- 専門分野: マーケティング論
- 演習テーマ: サービス・マーケティング研究



経営学部
市場戦略学科
准教授

武谷 慧悟

**問いを生み出し、正しく検証し、
わかりやすく報告する**

「店員同士のコミュニケーションが顧客の再来店意向に影響する?」「サービス産業の人手不足を解決するのに効果的な求人広告の表現とは?」「おじさん構文を使った企業プロモーションはZ世代にどう作用する?」。

上記はゼミ生が最近取り組んだ研究テーマの一例です。大学生は日頃、消費者としてサービスを利用したり、アルバイトでサービスを提供したりしています。そうした日常生活の中から面白そうな研究テーマを発掘し、グループで研究に取り組むのが武谷ゼミ(サービスマーケティング研究)の主な活動内容です。2~4年生まで、それぞれ十二~十五人が在籍しています。今回は2年生の活動模様をご紹介します。自分たちで仮説を立て、データ分析によって仮説を検証し、検証結果に基づいて企業への提案をわかりやすくまとめる。一連の研究過程では、プロの研究者がするのと同じように、英語で書かれた論文も読みます(読ませます)し、統計分析にも取り組みます(取り組ませます)。さらには、学会報告しながら、研究成果を大学の外でも発表しています。2年次最大のイベント

トがMRGP(Marketing Research Grand Prix)への参加です。MRGPは、マーケティング系のゼミに所属する約100人の学生が全国から集い、研究成果を報告する大会です。他大学の学生の研究発表からは、非常に多くの刺激を得られます。また、報告に対しては、プロの研究者や企業で活躍されるビジネスパーソンからコメントを頂戴することもできます。示唆に富むコメントばかりであり、学生にとっては学びを深める絶好の機会になっています。

研究には根気が必要ですし、成果を生み出すまでにはたくさんの苦悩を経験します。しかし、グループのメンバーと共に壁を乗り越えて研究を完成させたときの達成感、ほかではなかなか味わえないものです。また、研究遂行に求められる「問いを生み出し、正しく検証し、わかりやすく報告する能力」は、研究以外のあらゆる仕事にも不可欠です。産みの苦しみを磨いてほしい。そうしたねらいをもって、ゼミ生の研究活動をサポートしています。

今回ご紹介できなかった2年生以外の活動の様子については、経営学部のウェブサイトにときどきアップしています。こちらにはほかのゼミの興味深い取り組みも多数掲載されており、ぜひご覧になってみてください。



学生からの一言コメント

武谷ゼミの2年生は、12月のMRGPでの研究成果報告に向けて各グループが高い目標を掲げつつも、楽しくグループ研究に臨んでいます。私たちのゼミは、これらのグループ研究を通して、マーケティングに関する知識だけでなく、主体性や協調性などのスキルも同時に身に付けることができる素晴らしいゼミです! 研究が行き詰まり、頭を抱えることもありますが、そんなときには武谷先生の貴重な助言によってみんなが再び前向きになり、目標に向かって一丸となって進むことができます。いろいろな思いをしながら、グループメンバーと共に作り上げた研究を発表した日には、予期せぬ感情と達成感が広がります。

あらゆる面での成長があり、このゼミを通して経験することで、自分自身や仲間との連携、問題解決のスキルが向上するなど、多くの良い影響を受けることができる、そんなゼミです。



市場戦略学科2年

八百谷 優希

学内イベントピックアップ

オータム Autumn Festival フェスティバルを終えて



11月4日(土)・5日(日)に、「オータムフェスティバル2023」が開催されました。

今年度は4年ぶりの完全対面開催となり、活気あふれるステージや企画などの催しが繰り広げられ、来場されたすべての方々に笑顔をお届けすることができました。ここではさまざまな企画の模様と、今年度の実行委員長の感想を紹介します。

開催テーマ

Freedom

開催日時: 令和5年11月4日(土)・5日(日)

開催方法: 対面

運営: オータムフェスティバル実行委員会

さまざまな
企画の一部を
ご紹介



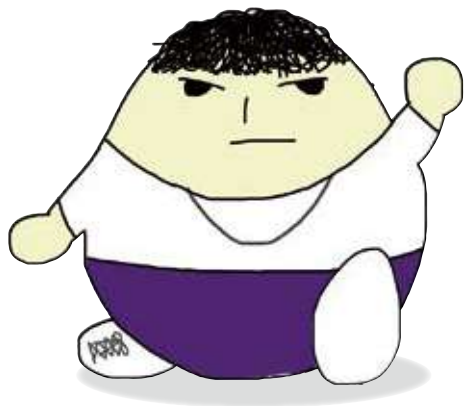
プレイバック!
オータム
フェスティバル
2023



ぜひオータムフェスティバル
HPをご覧ください。

駒澤大学オータムフェスティバル2023

検索



「Freedom」

従来の枠にとらわれず、
学生間の交流や
地域との共生、
企業との協力による
自由で開かれた大学祭

「オータムフェスティバル2023」実行委員長
法学部 政治学科3年

緑 晃佑

皆さま、こんにちは。

「オータムフェスティバル2023」実行委員長を務めさせていただきました、緑晃佑と申します。このたび、駒澤大学「オータムフェスティバル2023」を11月4日(土)・5日(日)に駒沢キャンパスにて開催いたしました。当日、駒沢キャンパスにお越しいただいた皆さま、出演してくださった団体の皆さま、関わったすべての方々に感謝いたします。

今年度のオータムフェスティバルは、生配信などのオンラインコンテンツを廃止した、4年ぶりの完全対面開催となりました。完全対面開催のノウハウの蓄積がコロナ禍で失われた中、160人近くの実行委員が一丸となり準備を進めてまいりました。駒澤大学のサークルや部活動、地域の団体も含めた参加団体数は約100団体、当日の来場者数は約1万4000人となり、多くの駒大生や来場者の方々にぎわうイベントを開催することができました。

今年度はメインテーマとして「Freedom」を掲げ、従来の枠にとらわれず、学生間の交流や地域との共生、あるいは企業との協力による自由で開かれた大学祭を目指しました。当日は、参加団体による飲食を含む模擬店、地域の団体も参加した野外ステージ・記念講堂・緑の丘スタジオでのパフォーマンス、種月館でのサークル体験ブースや展示ブースが実施されました。また、今年度の新たな試みとして、企業から広告・物品の協賛、企業ブースの出店を行い、参加団体、実行委員も含め自由な発想で「Freedom」を体現したコンテンツを創り上げることができました。

私自身、オータムフェスティバルの開催にあたって、参加団体、来場者の皆さまに満足していただくことを第一に考え活動してまいりました。当日、多くの皆さまの楽しんでいる姿や笑顔を見ることができ、大変うれしく思います。

「オータムフェスティバル2023」は無事終わることができましたが、すでに2024年度の開催に向けて日々着々と準備を進めております。来年度も引き続き、皆さまに満足していただけるような大学祭とは何かを突き詰め、「オータムフェスティバル2024」を開催しますので、ご期待いただけますと幸いです。併せまして、今後ともオータムフェスティバル実行委員会をよろしくお願いいたします。



駒澤大学の おいしい学食

種月館にあるカフェテリア「Kitchen駒膳」では、駒大生の胃袋をつかんで離さない、バラエティに富んだ食事が、朝・昼・夕合わせて1日あたり約1500食も提供されています。そこで今回は「駒澤大学のおいしい学食」を、文化部取材班の食レポを添えて紹介します！



総勢約30人のスタッフの陣頭指揮を執る
銀座スエヒロの中野チーフに聞いてみました。



中野チーフ

ある日の銀座スエヒロスタッフの皆さん

Q1.ズバリ、押しメニューは？

力を入れているのはDekitate & Grillコーナーです。なるべく温かい料理を提供したいからです。

Q2.学生に人気のメニューは？

カツ丼のような定番メニューです。ステーキも人気あります。

Q3.調理をする上で気をつけていることは？

日替わり・週替わりメニューを間違いなく提供するため、スタッフ間で注意するポイントの共有を徹底しています。また、待ち時間を最小限にするため予測して準備し、ピークを過ぎたらこまめに様子を見て調理を始めるなど、常においしい食事を適切なタイミングで提供できるようにしています。

**【鉄板】
豚肩ロースの生姜焼**



肉ののった鉄板を火にかけるのをカウンター越しに見てワクワク。香ばしい匂いの熱々ソースはご飯がすすむ味付けでした。

赤魚の西京焼



魚の旨みを感じられる滋味深い味わい。インゲンの胡麻和えときんぴらがごほうは家庭的な優しい味付けでした。

**本格!
インドチキンチーズカレー**



しっかり炒めた玉ねぎの本格カレーでスパイスは控えめ。サラダを付けた方がいいですね。量は食べ盛りの男子には足りないかも？

チキンステーキ



鶏もも肉2枚でボリューム十分。男子学生のおなかを満たす。甘い味付けは控えめで、肉の味とのバランスを取っています。サラダを付けると食べ切れないかも？

ハンバーグとアジフライ



野菜・魚・肉すべてを一度に取れて栄養満点。サクサクのアジフライは絶品でした。

**若鶏唐揚げと
カニクリームコロッケ**



唐揚げは一つひとつが大きめでとってもジューシー。カニクリームコロッケはトマトソースでいただくスタイル。中はとってもクリーミーでおいしかったです。

【鉄板】プルコギ定食



人参・もやし・ニラ・白菜・椎茸と肉、フライパンにたっぷりの材料をその場で炒めて熱々で提供。ご飯にはぴったりの塩味と辛味。コスバは抜群。

揚豆腐のきのこあんかけ



ご飯に合うように味付けをされているのがすごく伝わりました。とてもおいしかったです。味噌汁もおいしかったです。

**アジアンチャーハン
(ナシゴレン)**



待ち時間が短く、手軽にアジア料理が楽しめます。お米も野菜も肉もエビチップも一皿で楽しめます。



取材を終えて

私が最初に食べた駒澤大学の学食のメニューはオムライスでした。目の前で卵の調理が始まり、湯気の立つ出来たてのオムライスをトレーにのせてもらいました。アツアツで本当においしかったことを鮮明に覚えています。

今回、銀座スエヒロの中野チーフから学食に関するお話を伺った中で、学生の好みやボリューム、彩りはもちろん、夕食はあえて献立を決めず、その日の食材の中から夕食らしさを感じてもらえる食事を提供できるよう心がけているという、営業時間の長い駒澤大学ならではの配慮に感動しました。

「学食は一般の方も利用できるの、気軽に食べに来てください」と、中野チーフからメッセージをいただきました。駒沢キャンパスにお立ち寄りの際は、ぜひおいしい学食を召し上がってみてください。ただし、混雑する時間帯(平日12時～13時)は避けてください。(N.I)

タコライス



サラダも食べたい、ご飯も食べたい、いろいろ迷ったときにお勧めなタコライス♪ サッパリとしたスパイスが食べやすいです。

高等教育の 修学支援新制度のご案内

学修継続を経済的事情であきらめることがないよう、国の制度として「高等教育の修学支援新制度」が実施されており、駒澤大学もその対象機関のひとつとして認定されています。

各大学の授業料等減免と国からの給付型奨学金(返済不要)が一体になっている制度で、おおよそ世帯収入380万円以下(目安)の方を対象に、最大70万円(年額)の授業料減免に加えて、毎月最大75800円の奨学金が給付されます。令和6年度より、多子世帯の学生に対する新たな区分が設置される予定です。経済的支援を必要とする方は、まず第一にこの制度への申請をご検討いただくよう、大学としてもお勧めしています。

この制度の支援を受けるための要件には、世帯年収・資産成績・学修意欲などがあります。詳細は日本学生支援機構の「進学資金(給付奨学金)シミュレーター」などでご確認くださいませ。申請手続きをするためには、まず本ページ中段の日本学生支援機構奨学金募集説明会(4月9日)に出席いただく必要があります。

★支援を受けられる年収の目安と支援額

支援対象者	支援区分	世帯収入の目安	支援額
住民税非課税世帯の学生	第Ⅰ区分	～約300万円	満額
住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生	第Ⅱ区分	～約400万円	満額の2/3
	第Ⅲ区分	～約460万円	満額の1/3

※世帯収入の目安(世帯モデル…両親・本人・高校生の家族4人世帯の場合)

★給付型奨学金の支給月額

支援対象者	支援区分	自宅通学	自宅外通学
住民税非課税世帯の学生	第Ⅰ区分	38,300円(42,500円)	75,800円
住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生	第Ⅱ区分	25,600円(28,400円)	50,600円
	第Ⅲ区分	12,800円(14,200円)	25,300円

※生活保護世帯で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人は、カッコ内の金額になります。

★授業料の免除・減額の上限額(年額)

支援対象者	支援区分	授業料
住民税非課税世帯の学生	第Ⅰ区分	約70万円
住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生	第Ⅱ区分	約47万円
	第Ⅲ区分	約23万円

※授業料の減免額については、各学科により異なります。

日本学生支援機構奨学金 募集説明会のご案内

新年度の奨学金(給付型・貸与型)募集説明会を行います。新規申請や追加申請を希望する学生が対象です。学生へは、KONECO、奨学金ホームページなどのご案内します。

日本学生支援機構 奨学金(給付型・貸与型) 募集説明会

日付	時間	対象	場所
4月9日(火)	9:30~10:30	法・医療・大学院	1号館301教場
	11:00~12:00	経営・GMS	
	14:00~15:00	仏・文	
	15:30~16:30	経済	

- 日時に変更が生じた場合、KONECOやホームページでお知らせします。
 - 学生本人が出席してください。学生証と筆記用具をお持ちください。
 - 成績不振により留年している方は申請いただけません。
- ※学内奨学金・民間団体等の奨学金は、ホームページにて募集告知をします。

駒澤大学奨学金
ホームページ



【奨学金担当】

学生支援センター 日本学生支援機構(JASSO)奨学金窓口
TEL: 03-3418-9557 開室時間: 平日のみ 9時~18時
MAIL: scholarship@komazawa-u.ac.jp

自転車損害賠償保険等への 加入について

東京都では2020年4月1日より、自転車利用者は自転車の利用によって生じた他人の生命又は身体の損害を賠償することができるよう、自転車損害賠償保険等に加入することが義務化されました。自転車、通学をされる方は、自分や家族が加入している保険の賠償範囲を確認した上で、自転車事故での損害賠償をカバーできる保険に加入してください。

※本学では、入学時に学生教育研究災害傷害保険(学研災)とそれに付帯する賠償責任保険(学研賠)に全員加入していますが、この保険では全ての自転車事故が補償対象となっておりません。普段の生活の中で自転車に乗る機会がある方は、別途、自転車損害賠償保険等に必ず加入してください。

国民年金保険料 「学生納付特例」の申請について

※本学は、令和2年1月23日付で、「国民年金の「学生納付特例事務法人」に指定されました。

20歳になると国民年金の保険料の納付が義務づけられていますが、学生については、申請により在学中の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。大学を通じて学生納付特例を希望される方は、学生支援センター窓口で学生本人が申請手続きをしてください。

※大学に来る機会が少ない方は、住所地の市区役所町村役場の国民年金担当窓口、または年金事務所マイナポータルでも申請できますので、そちらへお問い合わせください。

【問い合わせ先】

学生支援センター②番窓口
03-3418-9873

詳しくは
日本年金機構HPへ



駒澤大学 学生・保護者の方々へ

こんにちは。株式会社 KU サポートです。

株式会社KUサポートは、学校法人駒澤大学の100%出資により設立された事業法人です。

大学と連携して事業活動を展開し快適な学生生活を送っていただくことに努めております。

- ・住まいを必要とされる方へ大学専用寮・優先寮・マンション等の斡旋
 - ・学生生活を安心してお送りいただけるように幅広く生活を補償する学生総合補償制度
 - ・勉強等で必要となるノートパソコン、モバイルWi-Fi、電子辞書の販売
- などの様々な事業を展開しております。

より良い学生生活をお過ごしいただけますよう、是非ご利用いただければ幸いです。

KUサポートHP



株式会社KUサポート

学生サービスのご案内



駒澤大学専用寮
駒澤大学優先寮
学生会館・学生マンション

住まいを必要とされる学生の方に、駒澤大学専用寮・優先寮をはじめ、安全性を優先し、通学時間・設備を考慮した学生会館・学生マンションの各物件を、信頼できる学生住宅紹介専門会社と提携しご紹介します。



学生総合補償制度

【駒澤大学生専用の保険制度です。】

学生生活を安心してお送りいただけるよう、海外も含め日常生活における病気やケガ、賠償など幅広く補償します。



ノートPC

幅広いラインナップから、大学推奨ノートパソコンを低価格、かつ他では用意できない4年間の任意加入保証付きでご提供します。

電子辞書

大学授業・課題・試験に最適。



TOEIC®TOEFL®IELTS™ 就活、留学を有利に進めるチャンス。
試験対策講座



スーツ

入学式、就活に向けて。
駒澤大学生特別割引あり。



Hello 英会話講座 外国人講師のレッスンを、
大学内で毎日受講できる。



モバイルWi-Fi

特別な設定不要!! ノートPC+スマホ
を利用場所の制限なく使い放題。
※通信量制限なし ※解約金なし

電子パンフレットはこちらから

学校法人駒澤大学事業会社 株式会社KUサポート

株式会社KUサポートは、大学と連携して事業活動を展開し大学の教育・研究の充実に寄与し、より良い環境づくりをサポートします。事業活動を通じて広く社会に貢献することを目的とし学校法人駒澤大学の100%出資により2007年7月に営業を開始しました。



TEL 03-3418-9743 URL <http://ku-support.com/>

令和5年度 「学業成績表」について (ご案内)

教務部

今年度の保証人宛学業成績表(33ページ表1)を、3月中旬に発送いたしました。お手元の成績表で、大学での成績、修学状況を必ずご確認ください。

転居後、大学への届け出がお済みでない方は、至急「保証人住所変更」の手続きを行うよう、学生本人にお伝えください。

なお、3月25日(月)以降も「学業成績表」が届かない場合は、教務1係へお問い合わせください。

ただし、「個人情報保護法」により学生本人が保証人への成績情報開示に同意していない場合は、お手元に届きません。

◆学業成績表の見方

「学業成績表」には、本年度までに履修登録した各授業科目の成績評価、全履修科目の総合成績評価、及び卒業に向けた単位修得状況を記載しております。

試験・授業の出席状況・レポート等課題の提出状況を判断基準とし、「成績評価基準」(33ページ表2)に従い、「S・A・B・C・D・空欄」で表記し、全履修科目の総合評価はGPA値として4点満点で表記しております(33ページ表3・34ページ表4)。なお、評価欄が空欄の場合は単位を修得していません。①授業出席日数が不足しているため、評価できない②試験を受験していない(欠試)③課題等を提出していないといったケースが考えられます。Tの

場合は認定科目を意味します。

卒業に向けた単位修得状況では、学生の所属している学科の卒業必要単位数を、科目分野ごとに記載しております。今年度までの単位修得状況と比較していくと、卒業への進捗状況が把握できます(34ページ表4)。

★学業成績表を見る際は、

次の点にご注意いただきご覧ください。

1.合格科目(S・A・B・C)が何科目あるか。今年度履修登録をした科目のうち、どの程度合格しているかをご確認ください。履修登録した科目に対して著しく合格科目が少ない場合や、評価欄に空欄が目立つ場合は、授業に出席していないケースが考えられます。

2.入学してから現在までに卒業に必要な単位を何単位修得し、何単位不足しているか。単位修得状況欄(34ページ表4)にある卒業必要単位数を1年次25%、2年次60%、3年次85%を目安に修得されているれば、卒業に向けて順調な範囲と言えます。ただし、1年間で履修登録できる単位数は各学科、学年等により異なりますので、計画的に履修をしていく必要があります(34ページ表5)。

◆進級規程による修学指導と

進級基準について

進級規程により定められた条件を満たさない場合、学部による修学指導の対象となります。また、2年次末に「進級基準表」(35ページ表6)に定められた条件を満たしていない場合は原級留め置きとなります。原級条件に応じて「警告」「退学勧告」がなされます。

◆学業相談・お問い合わせについて

保証人の方は、毎年の単位修得状況について「学業成績表」で確認していただき、学生の修学状況を把握していただくとともに、勉学に対する意識を高めていただきたいと思います。3年次になると就職活動等も開始され、4年次となると大学の総まとめとなる学修研究に多くの時間が割かれます。有意義な学生生活を送っていただくためにも、早い段階から計画的に単位を修得していくことを推奨しております。

なお、「学業成績表」をご覧になった上でご質問や相談を希望される場合は、問い合わせ先の担当係に事前にお問い合わせの上、ご来校ください。成績に関して資料に基づき相談する場合、個人情報を取り扱うこととなるため、保証人であることが確認できる公的書類のご提示をお願いしております。代理人の方が来校される場合は、委任状も併せてご持参ください。

表1 学業成績表の形式

令和 年度 学業成績表 (本人用)

学 部 学 年 学 号 氏 名 年 月 日 出

学業成績表欄

単位修得状況欄

お知らせ・注意事項 行事予定欄

成績判定・卒業判定欄

成績表の見方

成績評価・単位認定

単位修得状況欄の見方

年間履修制限単位数

GPA (Grade Point Average) 制度

進級基準

《学業成績表の見方》
 各教科科目はそれぞれ大学規程に基づいて、単位(学修)の履修を数値で示し、成績評価を行います。1科目の履修単位は1単位と標準とするほか、必要に応じて履修単位を2単位とします。
 学業成績表は、履修科目、その科目の履修成績(単位修得状況)を記載されています。

《成績評価・単位認定》
 履修の成績は以下のとおりです。
 合格 素点 100点～90点
 合格 素点 89点～80点
 合格 素点 79点～70点
 合格 素点 69点～60点
 不合格 素点 59点～0点
 評価なし
 認定

《単位修得状況欄の見方》
 履修科目の履修状況は、以下のとおりです。
 履修科目 履修成績(単位修得状況) 履修単位
 履修科目 履修成績(単位修得状況) 履修単位
 履修科目 履修成績(単位修得状況) 履修単位

《年間履修制限単位数》
 各学部学修規程に基づいて、履修制限単位数が定められています。この制限を超えて履修することはできません。

《GPA (Grade Point Average) 制度》
 GPAは、履修科目の履修成績(単位修得状況)に基づいて算出されます。GPAの値は、成績を参考とする奨学金等の選考基準に使用されます。詳細は各所属学部の履修要項をご確認ください。

《進級基準》
 各所属学部の履修要項に基づいて、進級基準が定められています。進級基準を満たす必要があります。

表2

《成績評価・単位認定》
 評価の基準は以下のとおりです。

合格/不合格	合格				不合格		認定
素点	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点～0点	評価なし	認定
評価	S	A	B	C	F	空欄	T
グレードポイント	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0	

※グレードポイントはGPA値算出時に使用します。(算出方法については履修要項参照)

表3

《GPA (Grade Point Average) 制度》
 S・A・B・C・F・空欄の評価に対してそれぞれ4.0・3.0・2.0・1.0・0点のグレードポイントを与え、これに各科目の単位数を掛け合わせ、その総計数を総履修単位数で割った値がGPAの数値となります。GPAの値は、成績を参考とする奨学金等の選考基準に使用されます。詳細は各所属学部の履修要項をご確認ください。
 ※履修要項は大学HPにてご確認ください。

表4

《単位修得状況欄の見方》

科目分野	※1	※2	※3	※4
	単位数	卒業必要 単位数	修得 単位数	
宗教教育		4	4	}
教養<人文>		↑	4	
教養<社会>			4	
教養<自然>		16		
教養<ライフデザイン>		↓		
専門<選択>		28	12	
卒業論文		8		8
広域選択		18	4	14
合計		124	32	92
随意科目	/			※5
課程講座				
* フレックスBでの修得	専門40単位 教養12単位			※6
GPA:2.00				※7

※1 卒業するまでに修得しなければならない単位数
 ※2 入学してから今年度までに修得した単位数
 ※3 これから卒業するまでに修得しなければならない単位数
 ※4 修得が必要な科目分野の名称。修得の必要がない分野は空欄で表示
 ※5 授業科目は定められた各年次の年間履修制限単位数の範囲内で登録することができます。
 卒業年次生の不足単位数が年間履修制限単位数より多く残っている場合、その年度での卒業は不可能になります。
 ※6 フレックスAまたはフレックスB時間帯での修得単位数を示します。(該当学科のみ表示)
 ※7 GPA算出値。算出方法は履修要項を参照して下さい。

単位とは
 各授業科目は、それぞれ大学設置基準に基づいて、単位(学修の量を数字で表したものが定められています。この単位を定められた期間で修得することによって、卒業する制度を単位制度といいます。

表5

《年間履修制限単位数》
 1年間で履修登録できる単位数には上限が定められています。この上限を超えて授業の履修登録することはできません。

学部・学科・専攻	入学年度等	学 年			
		1年	2年	3年	4年
仏教学部	平成30年度以降	49	49	49	49
	平成29年度以前	54	54	58	58
文学部 国文学科・英米文学科・歴史学科	平成30年度以降	48	48	48	48
	平成29年度以前	50	50	50	48
文学部 地理学科	平成30年度以降	49	49	49	48
	平成29年度以前	50	50	50	48
文学部 社会学科社会学専攻	令和3年度以降	45	45	45	45
	平成30年から令和2年度	49	49	49	49
	平成29年度以前	50	50	50	48
文学部 社会学科社会福祉学専攻	平成29年度以降	49	49	49	49
文学部 心理学科	平成30年度以降	49	49	49	49
	平成29年度以前	50	50	50	48
経済学部	平成30年度以降	49	49	49	49
	平成29年度以前	42	42~58	48	48
法学部 法律学科	令和3年度以降	48	48	48	48
	平成30年から令和2年度	49	49	49	49
	平成29年度以前	50	48	48	48
法学部 政治学科	平成30年度以降	49	49	49	49
	平成29年度以前	54	54	54	54
経営学部		2~44	2~44	2~48	2~48
医療健康科学部		56	56	56	56
グローバル・メディア・スタディーズ学部	平成30年度以降	49	49	49	49
	平成29年度以前	54	60	60	60

(注) ①仏教・文学部は4年次の年間履修制限単位数に「卒業論文」の単位数を含みません。
 ②再履修を含めて、すべての科目を上記年間履修制限単位数の範囲内で履修登録します。
 ただし、教職課程・資格講座科目、随意科目は制限外で履修登録できます。

表6

《進級基準》
進級基準表

平成30年度以降入学生	全学部 (医療健康科学部のみ平成30年度から令和3年度入学生)	進級	2年次終了時に卒業に必要な単位の内40単位以上修得した者
		原級	2年次終了時に卒業に必要な単位の修得が39単位以下の者
令和4年度以降入学生	医療健康科学部のみ	1年次終了時	
		進級	専門教育科目選択の修得単位数を除き①卒業に必要な単位を35単位以上修得しており、かつ②総合演習Ⅰの単位を修得している者
	原級	専門教育科目選択の修得単位数を除き①卒業に必要な単位を34単位以下の者、または②総合演習Ⅰが未修得の者	
	2年次終了時		
	進級	専門教育科目選択の修得単位数を除き①卒業に必要な単位を73単位以上修得しており、かつ②総合演習Ⅱの単位を修得している者	
	原級	専門教育科目選択の修得単位数を除き①卒業に必要な単位を72単位以下の者、または②総合演習Ⅱが未修得の者	
医療健康科学部のみ	3年次終了時		
	進級	専門教育科目選択の修得単位数を除き①卒業に必要な単位を102単位以上修得している者	
原級	専門教育科目選択の修得単位数を除き①卒業に必要な単位を101単位以下の者		
平成29年度以前入学生	仏教、文、経済、法、経営、医療健康科学部	進級	2年次終了時に①卒業に必要な単位を30単位以上修得しており、かつ、②外国語必修1Aa及び1Abの2単位または1Ba及び1Bbの2単位どちらかを修得している者(日本語を必修としている留学生は、外国語必修科目で2単位以上修得している者)
		原級	2年次終了時に①卒業に必要な単位を29単位以下の者、または、②外国語必修1Aa及び1Abの2単位または1Ba及び1Bbの2単位が全て未修得の者(日本語を必修としている留学生は、外国語必修科目の修得単位数が1単位以下の者)
	グローバルメディア・スタディーズ学部	進級	2年次終了時に卒業に必要な単位の内30単位以上修得した者
		原級	2年次終了時に卒業に必要な単位の修得が29単位以下の者

・修学指導について(医療健康科学部を除く)
以下の基準に満たない場合は、学部による修学指導の対象となります。
1年次…修得単位数が19単位以下の者またはGPA値が1.00未満の者
2年次…修得単位数が39単位以下の者
3年次…修得単位数不足により次年度の卒業未了が確定した者(その他、学部学科で指導の必要を認めた者)
※医療健康科学部の修学指導については、履修要項でご確認ください。

・進級規程に伴う勧告について
警告……………2年次を途中で2回継続し、翌年3年次に進級できない者
退学勧告……………2年次を途中で3回継続し、翌年3年次に進級できない者

・在学条件について
在学年数4年以上を経過する3年次生が、卒業に必要な単位を修得した場合でも、次年度4年次に進級し、1年間在学しなければ卒業することはできません。

・修業年限と在学年数
修業年限とは、大学の教育課程修了に必要な期間のことです。
大学…4年(早期卒業制度の特例は除く)
在学年数とは、学生身分を有することのできる期間のことです。
大学…7年(休学期間は除く)

表7

《学業成績表の見方》

各授業科目はそれぞれ大学設置基準に基づいて、単位(学修の量を数字で表したものが定められています。この単位を定められた期間で修得することによって、卒業する制度を単位制度といいます。

学業成績表には、履修登録した科目の単位数・成績評価がすべて記載されています。

科目名	※2	※3	※4
	単位	評価*	年度
※1 [宗教教育科目:必修] 仏教と人間	4	S	5
[教養教育科目:人文分野] 日本文学を学ぶ(1)	※2	B	5
※6 [専門教育科目:選択必修1(8単位)] 会社法	4		※7

※1 []内は科目の分野を示します。
※2 科目毎の授業形態により定められている数。1単位あたり15時間～45時間の学修が必要とされます。
※3 評価の基準については、下記の「成績評価・単位認定」で確認してください。
※4 授業科目を履修登録した年度
※5 フレックスAまたはフレックスB時間帯で修得した単位数(該当学科のみ表示)
※6 選択必修科目の各科目群から指定された必要単位数。
※7 履修登録しているが評価が空欄の場合は単位を修得していません。
以下のケース等が考えられます。
① 授業出席日数が不足しているため、評価できない。
② 試験を受験していない。
③ 課題等を提出していない。

お問い合わせ先
成績に関すること/
教務部 教務1係 03-3418-9118
住所変更・休学・復学・退学に関すること/
教務部 学籍係 03-3418-9121

協定校への 短期語学セミナー参加のすすめ

カリフォルニア大学アーバイン校 英語セミナー

アメリカの中でも治安が良いことで知られるカリフォルニア州アーバイン市は、温暖な気候に恵まれた活気あふれる商業都市です。本セミナーでは先方大学が提供する優れた集中英語プログラムで勉強しながら、同世代の現地学生がパートナーとなり、交流を持ちます。また、質の高いホームステイを体験できることも、本セミナーの人気の理由の一つです。

- 日程：2024年8月4日～8月31日
- 参加費：820,000円
(2023年度参考額、燃油サーチャージ込み)
- 定員：30人
- 宿泊：ホームステイ4週間
- 内容：英語授業・アメリカ文化講義・観光
- 引率：なし

ブリティッシュ・コロンビア大学 英語セミナー

本セミナーでは、世界屈指の美港バンクーバーに隣接する美しいキャンパスで英語を学び、また質の高いホームステイを通じて異文化体験をすることができます。勉強の合間には、ヴィクトリア島の古い町並みの散策や、カナダの雄大な大自然の中でのアクティビティを満喫するなど、バランスのとれた内容となっています。

- 日程：2024年8月5日～31日
- 参加費：564,000円
(2023年度参考額、別途燃油サーチャージ66,800円)
- 定員：20人
- 宿泊：ホームステイ4週間
- 内容：英語授業・カナダ文化講義・観光
- 引率：なし

国際センター事務室では、語学力の向上と外国での異文化体験を目的に、短期語学セミナーを毎年、夏季と春季の長期休業中に実施しています。このセミナーは、協定校への約1カ月間の語学研修で、修了後には単位認定もされます。参加費用は授業料、渡航費、宿泊費、保険料等を含めて各大学とも、左記(夏季プログラムのみ)のとおり予定しています。この他、ドイツ語セミナーも開催に向けて検討を進めています。

3月下旬ごろに、学内各所に設置されるパンフレット、国際センターのホームページ等で日程を告知します。4月中旬ごろに説明会も開催しますので、ぜひご参加ください。海外留学や就職活動を視野に入れた各種外国語検定試験の受験に向けて、語学セミナーへの参加をぜひ一度ご検討ください。
※掲載されている各セミナーの内容は、今後予告なく変更となる場合がございますので、ご了承ください。

★詳しくは、国際センター事務室までお問い合わせください。

TEL: 03-3418-9196

2024年度 学費等納入のお知らせ

1. 学費等は左表期限までに大学所定振込依頼書(学費等振込依頼書)をご利用のうえ、金融機関より納入してください。
※いったん納入された学費等はお返ししません。

2. ATMインターネットバンキングにて納入する場合、依頼人名として大学所定振込依頼書に記載されている「振込依頼人コード(10桁)」及び「学生氏名」を必ず入力し、振込金額を間違わないよう納入してください。なお、納入時に不備がある場合、学生の特定及び入金確認ができないため、納入控え等の提出をお願いする場合があります。

※金融機関窓口における10万円を超える現金の振込みの場合、公的な本人確認書類の提示を求められることがあります。

3. 大学所定振込依頼書は、3月下旬以降「年額用」「前期用」を保証人住所へ送付します。大学所定振込依頼書を紛失した場合、財務部までご連絡ください。

4. 分割納入を選択した場合、8月中旬頃に「後期用」振込依頼書を送付します。後期分の納入は、後期用振込依頼書到着日からとなります。

5. 授業料・施設設備資金・教育充実費・実験実習料教育後援会費は、年額の二分之一に分割し、前期末・後期分として納入することが可能です。学費等の内訳詳細は、大学ホームページ(ホーム→学生生活・就職↓学費等)を参照してください。

納入期限	
年額	4月22日(月)
前期分	9月20日(金)
後期分	

○ フランシュ・コンテ大学 フランス語セミナー

フランシュ・コンテ大学は、7つの丘陵に囲まれ、ドゥー川湾曲部に環状に形成された都市ブザンソンにある大学です。森林や河川・湖など自然の彩りも豊かな街で生活しながらフランス語を学習します。また、プログラム期間中には3回の修学旅行も行います。

- 日程：2024年8月3日～9月1日
- 参加費：595,000円
(2023年度参考額、別途燃油サーチャージ58,800円)
- 定員：15人
- 宿泊：ホームステイ4週間
- 内容：フランス語授業・観光
- 引率：あり(プログラム冒頭のみ)

○ 淡江大学 中国語セミナー

台湾のベニスといわれる淡水にある淡江大学で中国語を学びます。学生寮に滞在し、毎日ネイティブ教員による中国語の授業を受けながら、文化体験や台北市内などへの小旅行も行います。

- 日程：2024年8月4日～8月24日
- 参加費：275,000円
(2023年度参考額、別途燃油サーチャージ16,800円)
- 定員：15人
- 宿泊：学寮3週間
- 内容：中国語授業・台湾文化講義・観光
- 引率：なし

○ マルティン・ルター大学 ドイツ語セミナー

マルティン・ルター大学は、かの有名な神学者、マルティン・ルターが宗教改革を始めた場所であるヴィッテンベルクにある大学です。4技能を集中的に鍛えるドイツ語授業に加え、エクスカーションや豊富な放課後プログラムが用意されているのも本セミナーの大きな魅力となっています。

- 日程：2024年8月3日～8月30日
- 参加費：470,000円
(2023年度参考額、別途燃油サーチャージ94,000円)
- 定員：15人
- 宿泊：ホームステイ4週間
- 内容：ドイツ語授業・観光
- 引率：なし

○ オックスフォード大学 英語セミナー

世界的な名門大学であるオックスフォード大学にて行われる英語セミナーであり、ロールプレイに基づいたスピーキングを中心とした英語によるコミュニケーション能力を育成するプログラムです。毎週金曜日は、オックスフォード大学の現役学生が課外アクティビティをサポートします。

- 日程：2024年8月4日～8月25日
- 参加費：未定
- 定員：20人
- 宿泊：学寮3週間
- 内容：英語授業・観光
- 引率：なし

6. 納入期限までに納入できない特別な事情がある場合、納入期限を延期することができますので、財務部までご連絡のうえ、所定の「学費等延納願」を4月22日(月)までに提出してください。学生及び保証人の署名捺印が必要となります。

7. 修学支援新制度の授業料等減免対象者の振込依頼書発送時期及び納入期限は異なります。前期・後期それぞれ支援区分の見直しが発生する可能性があるため、年額でのお振込みはお控えください。

■ 通年休学に関する費用(在籍料)の減額について

次に記載するすべての手続を完了した場合に限り、通年休学に関する費用(在籍料)が10万5千円(教育後援会費前期分5千円を含む)となります。

① 前期授業開始日の前日(2024年度は4月11日)までに教務部窓口へ通年休学願を提出(休学願には保証人の署名捺印が必要)

② 財務部窓口で通年休学減額者用振込依頼書を受領

③ 通年休学減額者用振込依頼書に基づき4月22日までに在籍料を納入

これらの手続を各期日までに完了しない場合、減額適用外となり、在籍料として前期分学費等を納入することになりますので、ご注意ください。

※法科大学院は4月2日までに通年休学願を提出してください。なお、法科大学院の9月入学者は、原則、在籍料減額の適用外となります。

通年休学に関する相談窓口は、教務部学籍係①窓口(大学院生は各担当窓口)、在籍料に関する相談窓口は財務部となりますので、詳細は各部署で確認してください。

★ お問い合わせ先 財務部学費係

TEL 03-3418-9076
FAX 03-3418-9071

4年間を振り返る

教育後援会には、執行部のほかに総務部、厚生部、文化部があります。ご子女の大学入学を機に委員となり、それぞれの活動にご尽力いただいた各部長から、委員活動を振り返った感想を寄せていただきました。



夏季委員研修会写真

教育後援会委員への参加は、息子が2年生になったときに大学から届いた案内がきっかけでした。私はこれまで息子のPTA活動等の経験がなく、最初で最後のご縁ということで総務部の委員として参加いたしました。とはいえ、2年次は新型コロナウイルスの影響で全ての行事がリモート対応であり、何も分らないままZoom越しに参加していました。特に「オンライン飲み会」は委員でなければ体験することはなかったと思います。画面越しでしかお会いしたことのない方々と話をしたりゲームをしたり、それも楽しい思い出です。

3年次では副部長という役割への対応に精一杯な中で、3年ぶりの対面開催となる定期総会や賀詞交歓会の運営に携わることができたのは貴重な経験でした。過去の資料を見返して「コロナ明

委員活動を終えて



教育後援会
総務部 部長

段中 明紀

け」状態に対応した手順書を作り直す苦労はありましたが、総務部メンバーが力を合わせて行事を運営できたのは、リモートでは得られない喜びでした。賀詞交歓会では、普段話す機会のない教職員、保護者とのおいしい食事を囲んでの会話を通じて、また、皆さんが笑顔の会場光景を見て、「やっつけて良かった」と思ったものです。

4年次では入学式の写真撮影と教育懇談会（東京会場）の運営を初めて経験しました。入学式は、写真ブースでの撮影お手伝いと聞いていたので軽い気持ちで参加したのですが、新入生や保護者が皆幸せそうで、その姿を撮影していると私まで楽しくなり、とても良い時間であったのを覚えています。また、教育懇談会では委員の誰もが未経験の中、事前に約700人の参加と聞いて心配でしたが、受付対応もスムーズにでき安心しました。

このように、不安と喜びの感情に揺さぶられながらの3年間は、思い返すとあっという間です。先輩方も同様の経験をされてきたと思いますが、伝統ある教育後援会の一部を担い、次の世代に引き継げることは大変素晴らしいことだと思います。

教育後援会の活動に携わる教職員の皆様、委員の皆様にも深く感謝申し上げます。



教育後援会
厚生部 部長

杉野 友也

かけがえのない4年間

駒澤大学教育後援会の委員として
過ごした4年間は、忘れられない、かけ
がえのない時間でした。思い起こせば4
年前、詳細をしっかりと確認することな
く教育後援会委員募集のハガキに応募
したことが、この素晴らしい縁の始ま
りでした。

私の教育後援会での活動は、オンラ
インによる委員総会参加から始まりま
した。コロナ禍の影響で、ほぼ全てのイ
ベントがオンライン開催となり、実際に
委員の皆様にお会いするまで1年以上
の期間を要しました。2年次になってか
ら、「初めまして」とご挨拶したことをよ
く覚えています。

厚生部の役割は、委員や会員の研修
会、サークル応援の企画、運営です。部
長を務めた今年度は、自身にとっても大
変有意義な年となりました。夏季委員

研修会での、プロ顔負けの新聞を作成
する、凜々しくかつたくましいコマスポ編
集長、強いながらも心優しいボクシング
部の青年たちとの出会い……この若人
たちの学生生活のほんの一部でも支援
できていることが大変喜ばしく感じら
れました。永平寺での二泊参禅研修会に
は、多くの会員の方に全国からご参加い
ただきました。4年ぶりに永平寺での開
催となり、準備段階から多くの課題に
直面しましたが、委員の皆様、永平寺だ
けでなく、地元路線バス会社からの温
かいご支援のお陰で乗り越えることがで
きました。

部長としての最終年度を振り返り思
うことは、全ての活動で厚生部員をはじ
め、関係者の皆様の力強い支えがあつた
からこそ、部長としての役割を果たすこ
とができたということです。厚生部員の
皆さんは本当に協力的で、いくつもの課
題を乗り越えることができました。心か
ら感謝しています。

最後になります。これからの委員活
動を支えていく皆様に禱を託し、教育
後援会の活動がより充実したものに
なっていくことを楽しみにしています。さ
ざまな面で支えてくださり、本当にあり
がとうございました。



教育後援会
文化部 部長

高野 典夫

会報の取材を通じて

私事ですが、今から半世紀近く前、学
生として駒澤大学に通っていました。あ
る日、自宅へ帰る電車の中で友人とし
ゃべっていたところ、隣に座っていた中年の
女性が「あなたたち駒澤大学の学生さ
ん？」と声をかけてきました。10分程度
でしたが、いろいろな話をすると、どうや
ら、以前、その女性の職場でアルバイト
をしていた駒大生がとてもいい子だつた
らしく、駒大生を高く評価しているとい
うことを聞かせてくれたのでした。

月日は流れ、今度は親の立場で駒澤
大学の門をくぐり、教育後援会の委員
として活動することになりました。
文化部は、「会報」に掲載する記事の
取材を通じて、学生と接触する機会が
多くあります。特に「サークル紹介」の取
材では、担当の委員がサークル代表の学
生と連絡をとり、取材の日程や場所等

の調整を進めていきます。取材日程等
が決まると、いよいよ取材です。コロナ禍
のときは対面取材ができず、リモートで
取材をした時期もありましたが、今は実
際に活動している場所に向向いて、学生
から直接話を聞くことができます。取
材終了後、参加した委員で取材の振り
返りをする、異口同音に「駒大の学生
って、みんな本当にいい子だね」とい
声が出ます。取材後に送ったお礼のメー
ルに丁寧な返信をもらい、「こちらが恐
縮したこともありましたが、そんなわけ
で、なぜか半世紀近く前の電車内の出来
事を思い出しました。

委員として活動できるのも、あとわ
ずかとなりました。教育後援会の目的に
「大学と家庭との緊密なる連絡を図り、
その教育的効果の向上に資する」とあ
ります。4年間の活動で、この目的達成
に多少なりとも貢献できたかと問われ
ると、答えに窮するところではありませ
んが、個人的には、学生のとときは違つた
視点で「駒澤大学」を見ることができた
ことは大きな喜びでした。

最後になりましたが、会員の皆様には、
今後も教育後援会の活動に対して、変
わらぬご理解とご協力を賜りますよう
お願いいたします。また、活動を支えて
いただきました教育後援会委員の皆様、
事務局である学生支援センターの皆様
には大変お世話になりました。この場を
お借りして厚く御礼申し上げます。

初めての 一泊参禅研修会に参加して



新型コロナウイルス対策で4年ぶりとなる永平寺一泊参禅研修会に参加してきました。全国から集まった九十三人の皆様もとても楽しみにしている様子で、受付で多くの方から「朱印のお申し出を承りました。」

2023年10月21日(土)、前日豪雨で当日降水確率90%以上のお天気に、祈るような気持ちで向かった福井駅は晴天。ところが、永平寺山門に着くころにはやはり土砂降り。霧に浮かぶ永平寺は優麗な自然に包まれて、不思議な感覚を漂わせていました。



教育後援会
厚生部
内山 克枝

その後身支度を整え、薬石(夕食の精進料理)をいただきました。食べるも修行、無言で作法に則りいただきます。各々のお箸と箸袋が授けられ、箸袋に印刷された言葉を唱えることで、「いただきます、ごちそうさま」を表します。有名な永平寺の胡麻豆腐ですが、本物は別格でした。

夕食(薬石)

参禅研修とは、「禅の規律に則った寝食をとりつつ坐禅を組んで禅の神髄を学ぶこと」とあります(永平寺HPより)。基本的な作法やルールは入山早々の諸説明と開講式でご教示いただけて、初体験でも安心です。コロナ禍における苦悩や少子化問題は修行僧(雲水さんと呼びます)の人数にも影響しているなど、貴重なお話も拝聴しました。

諸説明と開講式



ここから修行の様相で、坐禅の足の組み方や手の組み方を幾つか習い、腰や膝などに負担をかけないよう無理なく行えることを教わりました。坐蒲(坐禅用座布団)もあります。警策(坐禅中に肩や背中をたたく棒)を受けるのは本人の希望でした。知らないこと、勘違いが多くあることにも気付きました。体験後の映画鑑賞で、雲水さんの厳しい入門から修行の一年を拝見します。経験は力なりとは事実、今日学んだことを繰り返す日々の大変さも身に染みましたが、私自身の永平寺訪問は3度目ですが、独身時代と違う視点で、今回は、息子と同年代の雲水さんの日々が改めて印象的。迷路のような寺院をきいにとのえて、朝4時起きでお勤めの日々にホロリとします。視点が母になったのだと気付きます。次の日も早朝からの坐禅、朝課(朝のお勤め)、諸堂拝観と続きました。とても寒かったです。

一泊の研修ですが、心に残る大切な気付きとなりました。同班の皆様とは学園祭で一緒にするなど、今でもご縁をいただいています。

坐禅と法話(映画)



令和6年 新年賀詞交歓会

駒澤大学教育後援会



新年賀詞交歓会報告 例年以上のにぎわいに感謝



教育後援会 総務部
齋藤 達

令和6年1月20日、今年もホテルニューオータニで対面での新年賀詞交歓会が開催されました。私たちが総務部は、部長の段中さんを筆頭に、会の準備から運営を担当しています。昨年に続き、石川理事長や永井総長、各務学長をはじめ、多くの大学関係者にご出席いただきました。また、全国各地から参加されたご父母の皆さま、駒澤大学同窓会、駒澤会、教育後援会関係者を合わせると総勢二百四十人にもなり、昨年よりも多くの方々にぎわいました。

同会では、まず来賓の方々より、能登半島地震で被災された方々へのお見舞いの言葉の後に、駒澤大学関係者の昨年における活動状況の報告がありました。そして、各務学長からはさまざまな学生支援活動の報告、箱根駅伝での沿道応援に加え、他のスポーツ部の活動や学業面での成果を聞き、今年もさらなる充実した大学運営を期待せずにはいられませんでした。

さらには、同窓会の大石会長から、経済人会に所属するOBで上場企業経営者の方々より、今年も卒業式で学生に対してメッセージをいただけたお話や、駒澤会の二戸会長からは4年ぶりの研修会の活動報告がありました。在学時のみならず卒業後も多くの方々が活躍されているエピソードは、学生たちが困難に見舞われても、共に乗り越えて活躍する希望を感じさせるものでした。

ホテルの料理をいただき、歓談した後は、恒例のアトラクションとなります。卒業生でジャズボーカリストである平賀マリカさんと、駒澤大学ジャズ研究会の歌と演奏のセッションは、ニューオータニでの宴席をよりモダンでハイセンスな空間にしてくれました。また、福引抽選会では豪華な景品に加えて、熊本・三重・長野・鳥取県支部による賞として、地元の名産品の紹介が会場を盛り上げたことになりました。

そして最後には、駒澤大学応援指導部ブルーベガサスの登場です。リーダー部、チアリーダー部、ブラバンド部の3パート三十六人の学生たちが、全力エールで参加者を熱気に包んでくれました。ブルーベガサスの皆さんの表情がとても明るく、そのはつらつとした動きは、会場の皆さま全員を笑顔にしてくれるものでした。会の締めとして全員で校歌を熱唱し、お開きとなりました。

今年も卒業生であるフリーアナウンサーの加藤響子さんが司会進行を務められました。加藤さんの声に時に会を盛り上げ、時に落ち着いた華やかさを演出してくれました。

この賀詞交歓会は、私たち父母が駒澤大学の関係者の方々と直接意見交換をする貴重な場でもあります。来年も皆さまのお越しを楽しみにお待ちしております。



令和5年度 教育施設等充実助成金 支援事業のご報告

教育後援会では教育施設等充実助成の一環として、大学教育並びに学生生活に密着している部門への助成・支援を行っています。いずれも教育後援会会員の貴重な浄財からの支援ですので、永く使えるよう、学生の皆さんにはきれいに大事に使ってほしいと願っています。

令和5年度 教育支援事業一覧

- 学内奨学金
(学業成績最優秀者奨学金・駒澤大学百周年記念奨学金) 資金
- ゼミ合宿宿泊費補助
- 学生への食育支援事業(100円朝食)
- 「駒Dining」夜間営業による
玉川キャンパス利用サークル所属学生への食育支援事業
- スポーツ推薦選抜適用サークル学外指導者補助費
- 家計急変学生に対する一時給付金
- 共有スペースの拡充(学生の居場所確保)
- 令和5年度 就活集中セミナー受講費支援
- 学生への食料品支援プロジェクト
- 令和5年度 学位記授与式における
学位記ファイルの発注(購入費補助)
- 「オータムフェスティバル2023」
ステージ・テント設営(レンタル料補助)
- 学生団体(サークル)における上級救命講習受講費支援
- 私費留学生(在留資格:留学)・交換留学生への
卒業記念品贈呈事業



学位記ファイル

100円朝食



共有スペースの拡充(屋外ベンチ)

【学生への食育支援事業(100円朝食)】

学生食堂で月曜日から金曜日の8:00から9:30まで、「銀座スエヒロ」「ヴィド・フランス」の2店舗にて各200食の計400食を上限に、4月から12月まで実施しています。

「100円朝食」が学生、社会一般に認知され、朝食をしっかり摂取することの重要性が認められつつあり、学生への朝食摂取習慣を一層広めていくための支援です。

【家計急変学生に対する一時給付金】

主たる家計支持者が亡くなった、もしくは重篤により就労不能となったことにより家計が急変し、修学が極めて困難な状況になった学生に対し、学費または生活費の一部を援助することで学業の継続を支援します。

給付により、学生にとって肉体的・精神的な負担となっているアルバイトを軽減でき、その時間を学業やゼミ・サークル活動等に充てられ、健全で充実した学生生活を送ることにつながります。

令和6年度

教育懇談会について

大学教職員との交流や ご父母同士の懇親の機会に

教育後援会・大学の共催により、全国各地で教育懇談会を開催しております。

教育懇談会は、学生のご父母を対象に、大学の近況をご報告するとともに、学業成績や就職などのことについて教職員と懇談していただくことを目的としています。また、ご父母同士の懇親も深めていただけるイベントです。

詳細については、在校生のご父母（保護者）の皆さま宛に直接ご案内いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。



※令和5年度の様子



【駒澤大学教育後援会ホームページ】

<https://www.komazawa-k.org/>

↑も併せてご覧ください。

令和6年5月頃に情報を掲載予定です。

令和6年度 教育懇談会概要

日 程	令和6年5月25日～7月7日の土日開催
場 所	開催地・日程はホームページをご覧ください。
参加費	無料（食事などは教育後援会でご用意します）
申込方法	郵送される「ご案内」もしくはホームページをご覧ください。
お問い合わせ	駒澤大学教育後援会事務局 (駒澤大学学生支援センター厚生課内) TEL:03-3418-9060

令和6年度

定期総会・駒沢キャンパス構内見学会のご案内

教育後援会定期総会 駒沢キャンパス構内見学会を開催いたします。

定期総会は、教育後援会の最高決議機関で、教育後援会の各種事業を知っていただける機会です。ぜひお気軽にご出席ください。

定期総会終了後に、下記の施設において、定期総会にご参加いただいた皆さまを対象とした駒沢キャンパス構内見学会を実施します。



※令和5年度の様子

詳細は駒澤大学教育後援会ホームページ
<https://www.komazawa-k.org/>
↑で情報を随時更新していきます。
多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



令和6年度 定期総会・駒沢キャンパス構内見学会概要

行事	日付	時間	場所：駒沢キャンパス内
定期総会	令和6年5月11日(土)	10:00～(受付9:30～)	記念講堂
駒沢キャンパス構内見学会		12:00～各施設ごとに設定	図書館・禅文化歴史博物館 坐禅堂(坐禅体験)・学生食堂(学食体験)

※入場無料・全席自由

※会場や開催内容について変更となる場合がございます。

原稿用紙1枚程度(400字程度)

※ふるさとだより、学生に関すること、会報に対するご意見などをお寄せください。

※原稿には、タイトル・氏名・お子様の学部学科学年等をお書き添えください。顔写真なども一緒にいただくと幸いです。

なお、原稿はお返しいたしません。

送り先

〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学教育後援会事務局 宛

(メールでも受け付けております。)

k-koen@komazawa-u.ac.jp

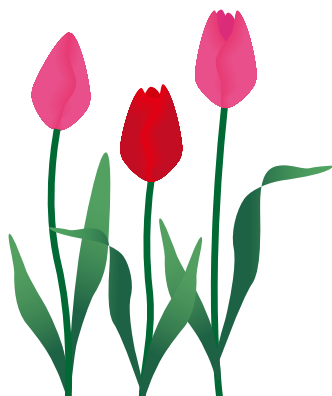
「父母寄稿欄」への
投稿をお待ちしております



編集後記

2023年5月、新型コロナが「5類」に移行したことに伴い、人々の生活にも活気が戻った年になりました。私が教育後援会での活動を始めたのも2023年5月からでしたので、コロナ禍の間の大学の様子はわからないのですが、今では後援会活動で駒澤大学を訪れるたびに構内での学生たちの勉学に励む姿、大学食堂でのにぎやかな姿を見ることができ、こちらも若返ったような気分になります。陽気な学生たちを見ていると、コロナ禍を経験したことを通して、さまざまな状況下でも臨機応変に対処できる術を知ったかのようにも見えます。

仕事中心の生活をしているなかで、教育後援会への参加は新鮮な出会いとなり、同時に私の中でひとつの変化になりました。今後は、サークル紹介の取材など、積極的にチャレンジしていきたいと存じます。(K.M)



駒澤大学では駅伝で有名な陸上競技部だけでなく、さまざまなサークルが活動しています。そのサークル取材を通じて駒大生から多くの感動をもらい、学ばせていただいた4年間でした。

私は、息子の駒澤大学への入学をきっかけに教育後援会文化部の活動に参加させていただきました。当時は新型コロナウイルス感染症の拡大が広がりつつあるタイミングでしたが、その後ピークを迎え、2023年の5類感染症への移行と、文化部での活動もコロナ禍に振り回された4年間でした。私たちの活動の主体である「サークル紹介」は対面取材からWeb取材にかわり、そして再び対面取材に戻ってきました。ただ、対面であろうとWebであろうと、駒大生から受ける「表情・言動・情熱」は変わりませんでした。環境変化にうまく対応する学生と接することで毎回感動しつつ、私自身「環境変化を恐れず、なにごとにも取り組んでいこう」という考えを学ばせていただきました。

新入生に抱負を語ってもらったスケッチブック取材は、入学式での取材が困難になり中止になった年もありましたが、その後、4月のサークルフェスティバルでの取材へと変更しました。このように文化部としての活動も、環境変化に合わせてメンバーが協力しながら進めることができました。

最後に、この活動の中でご縁のあった全ての方に感謝申し上げます。(H.I)

アンケートに
答えて

駒澤大学
関連グッズを
抽選で
10名様
プレゼント!

駒澤大学教育後援会『会報』第188号はいかがだったでしょうか。今後の誌面編集の参考にさせていただくため、下記アンケートにお答えください。回答されたシートは、郵送もしくは FAX で駒澤大学教育後援会事務局までお送りください。皆様の率直なご意見、ご要望をお待ちしています(5月15日必着)。

Q1. おもしろかった記事の番号をお書きください(複数回答可)。

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 表紙について | 8 オータムフェスティバルを終えて |
| 2 《巻頭挨拶》
石川 順之(学校法人駒澤大学 理事長)
櫻井 秀則(駒澤大学教育後援会 会長) | 9 特集④ 駒澤大学のおいしい学食 |
| 3 特集① 駅伝 [箱根・全日本] | 10 大学だより |
| 4 特別企画 二十歳の抱負 | 11 父母寄稿・教育後援会だより |
| 5 特集② サークル紹介
体育会ヨット部/駒沢大学ボランティアサークル | |
| 6 特別企画 地方で活躍する駒大卒業生の皆さん | |
| 7 特集③ 学部・学科紹介 経営学部 | |

回答欄

Q2. 学部の教育内容や学生生活の状況、紹介してほしい学部・学科、ゼミなど、特集で取り上げてほしいテーマをお書きください。

Q3. 駒澤大学教育後援会『会報』に関するご感想、またお気づきの点がございましたらお書きください。

キリトリせん

プレゼントを希望される方は下記にご住所、ご氏名をご記入ください。ご協力まことにありがとうございました。

ご住所	〒
ご氏名	

郵送送り先

〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学教育後援会事務局 宛

FAX送り先

FAX 03-3418-8491

ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送にのみ使用させていただきます。お預かりした個人情報は駒澤大学教育後援会事務局が責任をもって管理します。

お問い合わせ：TEL 03-3418-9060

駒澤大学教育後援会のホームページはスマートフォンやタブレット端末などでも閲覧しやすくなっています。



駒澤大学教育後援会のホームページは、モバイルデバイス（スマートフォン、タブレット端末等）などでも閲覧しやすいよう最適化しています。また、GMOグローバルサインが提供するSSLサーバ証明書は、認証局運用規定(CPS)および利用規約に基づいて提供され、WEBサイトのセキュリティを強化しています。

<https://www.komazawa-k.org>



令和6年度 駒澤大学教育後援会 年間行事予定のご案内

令和6年度の行事予定は、次の通りです。日程が近くなりましたら、教育後援会ホームページで詳細をご案内いたします。皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

	日程	行事
令和6年	5月11日(土)	定期総会
	5月25日(土)～7月7日(日)	教育懇談会(大学共催)
	7月19日(金)	会報189号発行
	10月14日(月・祝)	出雲全日本大学選抜駅伝競走 応援
	10月26日(土)・27日(日)	会員研修会 一泊参禅研修会(大本山總持寺)
	11月3日(日・祝)	全日本大学駅伝対校選手権大会 応援
令和7年	11月15日(金)	会報190号発行
	1月3日(金)	東京箱根間往復大学駅伝競走 応援
	2月1日(土)	新年賀詞交歓会
	3月24日(月)	会報191号発行

【備考】年間行事予定は、変更する場合がございます。各行事へのご案内は、保証人住所へ送付する会報またはお便りに掲載いたします。その他、最新情報は、教育後援会ホームページをご参照ください。

会報188号
編集兼発行

令和6年3月22日発行
駒澤大学教育後援会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1 駒澤大学学生支援センター内 駒澤大学教育後援会事務局
TEL: 03-3418-9060 FAX: 03-3418-8491

応援します 輝く今を

駒澤大学教育後援会

駒澤大学 <https://www.komazawa-u.ac.jp/> 駒澤大学教育後援会 <https://www.komazawa-k.org/>

お問い合わせ先

日本学生支援機構
(JASSO) 奨学金について
学生支援センター内
03-3418-9557

奨学金の
相談について
学生支援センター
厚生課厚生2係
03-3418-9058

学業成績等の
相談について
教務部教務1係
03-3418-9118

留学について
国際センター
03-3418-9196

学費について
財務部学費係
03-3418-9076

図書館について
図書館情報サービス係
03-3418-9165

保証人
住所変更について
教務部学籍係
03-3418-9121

就職関係について
キャリアセンター
03-3418-9092